

平成 28 年度

事業報告書

平成 29 年 6 月

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

目 次

1	管理部門	ページ
(1)	法人の概要	3
(2)	理事会・評議員会等	4
2	事業部門	
(1)	「精神障害者等」の社会参加への支援	
イ	精神科デイケア事業	
①	精神科デイケアの実施	
a	デイケア事業概況	5
b	平成28年度に在籍した通所者の概要	6
c	年度別通所開始者・終了者数	6
d	年度別通所終了者の理由	7
e	通所希望見学者及び受理面接者数	7
f	デイケア年間行事実施状況	7
g	関係団体の支援及び各種行事への参加状況	7
h	受入会議・スタッフミーティング	8
②	OB会活動支援	
a	アフターケア（OB会）関連業務	8
③	家族会活動支援	
a	家族会関連業務	8
④	地域生活支援事業	
a	地域生活支援業務	9
b	アフターケア及び相談関連業務件数（延べ人数）	9
ロ	障害者就労支援事業	
①	セミナー、模擬的な就労体験等	
a	就労支援関連業務	9
②	職場訪問	
a	職場訪問、事業所訪問等	9
ハ	障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業	
(イ)	多機能型事業所（就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所）の運営	
①	就労移行支援事業所（ココスタ）の運営	
a	メンバー構成	10
b	手帳の取得状況	10
②	就労継続支援B型事業所（ここりか・プロダクション）の運営	
a	メンバー構成	11
b	福祉手帳取得状況	11
c	通所者数	12
d	工賃	12
e	活動内容	12
(ロ)	相談支援事業所の運営	
①	ココクルの運営	16
(2)	精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及	
イ	精神保健思想の啓発普及と研修事業	
①	地域精神保健スタッフ等研修事業	
a	デイケア・事業所スタッフのための研修・講座	17
②	実習生、見学の受け入れ事業	
a	施設見学等来所者状況	17
b	実習受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ	18
③	市民講座の開催	
a	市民講座、精神科リハビリテーションセミナー	18
④	精神障害者等に関する調査・研究事業	
a	三菱財団社会福祉事業・研究	18
b	「デイケア・プログラムの利用状況と薬物アドヒアランスの関係についての研究」 （北海道臨床精神薬理研究会助成事業）	19
c	「精神障害ピアサポーター」普及啓発事業 （北海道新聞社会福振興基金一般公募助成）	19
⑤	北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業）	
a	地域移行研修会	19
b	エリア別研修会	21

c	ピアサポーター研修	2 2
ロ	高次脳機能障害者支援事業等	
①	相談窓口及びリハビリ提供	
a	高次脳機能障がい者支援事業（リハビリ提供・地域生活支援事業）	
	【在宅生活支援事業】	2 2
②	北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会の開催	2 4
ハ	ひきこもり対策推進事業	
①	北海道ひきこもり成年相談センター・札幌市ひきこもり地域支援センターの運営	
a	相談支援実施状況	2 5
b	支援ネットワークの構築等	3 4
c	普及啓発	3 7

3 会計部門

	貸借対照表	4 0
	正味財産増減計算書	4 1
	正味財産増減計算書内訳表	4 3
	財産目録	4 5
	財務諸表に対する注記	4 7
	収支計算書	5 0
	収支計算書に対する注記	5 2

4 監査報告

	監査報告書	5 3
--	-------	-----

資料編

1	理事・監事・顧問・参与・評議員名簿	5 4
2	財団法人設立の経過等	5 4
3	施設の概要	5 5
4	基本財産	5 5

1 管 理 部 門

(1) 法人の概要

【事業内容】

公益財団法人北海道精神保健推進協会は、精神保健思想の啓発普及と精神障害者等（メンタルヘルスケアの諸問題を抱える人を含む。）の社会参加を促進し、精神障害者等の福祉の向上に寄与することを目的として運営しており、定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- ・精神保健思想の啓発普及
- ・精神障害者等の社会復帰のための医療施設（デイケア及び診療所）の設置及び運営
- ・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業
- ・障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業・特定相談支援事業
- ・障害者地域生活支援センター等の相談支援事業に対する指導援助
- ・精神障害者等の就労・雇用に向けた支援
- ・地域精神保健・医療・福祉充実のための支援
- ・精神保健医療福祉に関する調査研究
- ・その他本会の目的を達成するために必要な事業

○法人の主な事業

精神障害者の社会復帰や社会参加の促進を図ることを目的に、精神科デイケア施設（独立型）である「こころのリカバリー総合支援センター」を運営するとともに、就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」、就労移行支援事業所「こコスト」、相談支援事業所「ココクル」を運営している。

「リカバリーセンター」では医学的管理のもとに、通所者への個別的相談や指導、社会的自立のための基礎的訓練、生活指導、作業訓練、レクリエーション、体力づくりなどを週間プログラムに沿って実施している。

また、北海道から委託事業として、高次脳機能障害者の受け入れ（平成16年度～）や精神障害者の入院から地域生活への移行支援事業の実施（平成19年度～）、「北海道ひきこもり成年相談センター」の運営（平成21年度～）を行うほか、札幌市からの委託事業として、「札幌市ひきこもり地域支援センター」（平成27年度～）の運営を行っている。

【役員】 理事10名・監事2名・顧問1名・参与1名・評議員11名

※氏名等資料編（54P）に掲載

【法人職員】 （合計21名：常勤職員 13名、非常勤職員 8名）

○「こころのリカバリー総合支援センター」

- ・常勤職員 9名 所長（医師・理事長）、事務職員2名、精神保健福祉士3名、作業療法士2名、保健師1名、（精神保健福祉士・兼務1名）
- ・非常勤職員 2名 医師1名、事務職員1名

○就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」

- ・常勤職員 2名 管理者（精神保健福祉士）、職業指導員（精神保健福祉士）1名、（生活支援員（作業療法士・兼務）1名）
- ・非常勤職員 5名 生活支援員（作業療法士）1名、目標工賃達成指導員（精神保健福祉士）1名、調理員3名

○就労移行支援事業所「こコスト」

- ・常勤職員 1名 就労支援員（精神保健福祉士）1名（管理者（精神保健福祉士・兼務））、（生活支援員（精神保健福祉士・兼務））
- ・非常勤職員 1名 職業指導員（社会福祉士）1名

○相談支援事業所「ココクル」

- ・常勤職員 1名 管理者（精神保健福祉士）、（相談員（精神保健福祉士・兼務））

(2) 理事会・評議員会等

区 分	年月日、会場等	議事等の内容
平成 28 年度 評議員会 (決議の省略)	平成 28 年 4 月 18 日 書面表決	定款の変更 ・相談支援事業所開設に伴う、 事業項目の追加
当法人監事による平成 27 年度 決算等監査	平成 28 年 5 月 20 日 於：こころのリカバリー総合 支援センター	平成 27 年度 事業の実施状況、 予算執行状況、財産目録等関係 帳票の監査 (出席) 監事 2 名
平成 28 年度第 1 回理事会	平成 28 年 6 月 14 日 於：北海道立道民活動センター	平成 27 年度 事業報告、決算報 告及び平成 27 年度補正予算等 (出席) 理事 8 名、監事 2 名 顧問 1 名
評議員選定委員会	平成 28 年 6 月 14 日 於：北海道立道民活動センター	次期評議員の選任 (出席) 評議員選定委員 5 名
平成 28 年度第 1 回評議員会	平成 28 年 6 月 30 日 於：北海道立道民活動センター	平成 27 年度 事業報告、決算報 告及び平成 27 年度補正予算等 (出席) 評議員 8 名
平成 28 年度 理事会 (決議の省略)	平成 28 年 7 月 1 日 書面表決	理事長・副理事・常任理事の選任 評議員選定委員会外部委員の選任 顧問・参与の推薦
平成 28 年度 評議員会 (決議の省略)	平成 28 年 7 月 1 日 書面表決	評議員選定委員会委員の選任
平成 28 年度 理事会 (決議の省略)	平成 28 年 12 月 16 日 書面表決	平成 28 年度事業計画の追加、 第 1 次補正予算等
平成 28 年度 評議員会 (決議の省略)	平成 28 年 12 月 28 日 書面表決	平成 28 年度事業計画の追加、 第 1 次補正予算等
平成 28 年度 理事会 (決議の省略)	平成 29 年 2 月 16 日 書面表決	平成 28 年度第 2 回評議員会の 招集
平成 28 年度第 2 回理事会	平成 29 年 3 月 29 日 於：北海道立道民活動センター	平成 29 年度事業計画、収支予 算等 (出席) 理事 6 名、監事 2 名 顧問 1 名
平成 28 年度第 2 回評議員会	平成 29 年 3 月 29 日 於：北海道立道民活動センター	平成 29 年度事業計画、収支予 算等 (出席) 評議員 9 名

2 事業部門

(1)「精神障害者等」の社会参加への支援

イ 精神科デイケア事業

① 精神科デイケアの実施

a デイケア事業概況

H28										H29				
デイケア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
月間開設日数 (A)	20	19	22	20	22	20	21	20	19	19	20	22	244	
開設日数【月火木金】(A1)	16	16	17	16	17	16	17	16	15	15	16	17	194	
開設日数【水】(A2)	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	50	
開設日数【金】(A3)	4	4	4	5	4	5	4	4	3	4	4	5	50	
開設日数【月火水木=50】【金=70】	1,080	1,030	1,180	1,100	1,180	1,100	1,130	1,080	1,010	1,030	1,080	1,200	13,200	
開設日数【月火木50=】【金=70】	880	880	930	900	930	900	930	880	810	830	880	950	10,700	
全部出席数合計 (B)	合計	800.0	797.5	860.0	857.0	867.5	797.0	719.0	687.0	646.0	616.0	652.0	830.0	9,129
	(うち高次脳)	76.0	70.0	83.0	76.0	79.5	82.0	83.0	75.5	76.5	68.5	82.0	80.0	932
(再掲) 上段:トータル 下段:高次脳	デイケア (B1)	736	726	823	799	797	724	682	648	617	575	607	782	8,516
		72	66	81	72	76	78	81	74	74	65	80	79	898
	ショートケア (B2)	14.0	15.5	14.0	13.0	16.5	13.0	11.0	17.0	13.0	15.0	15.0	25.0	182
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	2
	ダイナイトケア (B3)	36	42	15	37	39	42	23	17	10	18	25	16	320
		4	4	1	3	3	3	2	1	1	3	2	1	28
	ナイトケア (B4)	14	14	8	8	15	18	3	5	6	8	5	7	111
		0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4
	再診	12	19	10	10	15	19	12	18	10	14	19	19	177
		1	2	2	1	2	2	1	1	1	0	1	1	15
	通院精神	13	8	9	9	10	13	8	11	10	8	9	13	121
		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	電話再診等	0	0	0	0	1	2	0	1	1	2	1	0	8
		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
定員出席率【月火水木金】	74.1%	77.4%	72.9%	77.9%	73.5%	72.5%	63.6%	63.6%	64.0%	59.8%	60.4%	69.2%	69.1%	
定員出席率【月火木金】	77.9%	77.3%	71.7%	77.0%	74.8%	72.8%	64.1%	64.4%	64.6%	61.3%	61.1%	69.4%	69.7%	
一日平均出席数 (B/A)【月火水木金】	40.0	42.0	39.1	42.9	39.4	39.9	34.2	34.4	34.0	32.4	32.6	37.7	37.4	
一日平均出席数 (B/A1)【月火水木金】	42.8	42.5	39.2	43.3	40.9	41.0	35.1	35.4	34.9	33.9	33.6	38.8	38.5	
月間在籍者数	153	137	135	139	137	139	138	139	137	137	142	141		
	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16		
通所開始	5	5	1	5	1	2	1	4	1	1	5	3	34	
通所終了	21	3	2	2	0	2	3	3	1	1	2	4	44	
月末登録者数	132	134	134	136	137	137	135	136	136	137	139	138		
	15	15	15	15	15	16	15	16	16	16	16	16		
水曜デイケア	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開設日数【水】(A2)	4	3	5	4	5	4	4	4	4	4	4	5	50	
出席人数【水】デイ(デイ)(C1)	105	107	176	151	155	126	108	108	109	96	101	155	1,497	
出席人数【水】デイ(ショート)(C2)	1.5	1.5	3.0	2.0	3.5	1.5	1.5	1.5	1.5	2.0	2.0	1.5	23	
出席人数【水】デイ(再診)(C3)	6	6	4	1	2	4	1	4	4	5	3	5	45	
出席人数【水】高次脳(デイ)(D1)	8	9	14	11	13	14	13	11	12	9	11	14	139	
出席人数【水】高次脳(ショート)(D2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1	
出席人数【水】高次脳(再診)(D3)	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
小計 (C1、C2、D1、D2)	114.5	117.5	193.0	164.0	172.0	141.5	122.5	120.5	122.5	107.0	114.0	170.5	1,660	
一日平均出席数	28.6	39.2	38.6	41.0	34.4	35.4	30.6	30.1	30.6	26.8	28.5	34.1	33.2	
一日平均出席率(出席数/50)	57.3%	78.3%	77.2%	82.0%	68.8%	70.8%	61.3%	60.3%	61.3%	53.5%	57.0%	68.2%	66.3%	

b 平成28年度に在籍した通所者の概要

表.1-1 通所者の件数

	男	女	計
前年度から継続	105	43	148
当年度に通所開始	24	10	34
計	129	53	182

表.2-1 継続状況

	継続	通所終了	計
前年度から継続	111	37	148
当年度に通所開始	27	7	34
計	138	44	182

表.3-1 通所者の年齢

年齢区分	男	女	計
10～19歳	1	3	4
20～29歳	35	20	55
30～39歳	35	10	45
40～49歳	41	17	58
50歳以上	17	3	20
計	129	53	182
平均年齢	38.0	34.2	36.9

表.4-1 疾患別状況

	人数	構成
F2 統合失調症	69	37.9%
F3 気分（感情）障害	34	18.7%
F4 神経症性障害	22	12.1%
F6 人格障害	2	1.1%
F7 精神遅滞	2	1.1%
F8 発達障害	25	13.7%
F9 行動および情緒の障害	5	2.7%
G4 てんかん性障害	1	0.5%
高次脳機能障害（※）	22	12.1%
計	182	100%

※疾患別状況（高次脳機能障害内訳）

	人数	構成
F04 器質性健忘症候群	10	45.5%
F06 脳損傷、脳機能不全および 身体疾患による他の精神障害	5	22.7%
F07 器質性パーソナリティ行動障害	7	31.8%
計	22	100%

表.5-1 通所年数

通所年数区分	通所者	終了者	計
1年未満	27	10	37
1年以上～3年未満	33	13	46
3年以上～5年未満	32	9	41
5年以上～10年未満	25	9	34
10年以上	21	3	24
計	138	44	182
平均通所年数	4年11ヶ月	3年7ヶ月	4年7ヶ月
最短通所年数	1ヶ月	1ヶ月	
最長通所年数	20年	15年	

表.6-1 出席状況

通所日数区分	在籍者	終了者	計
50日以下	80	43	123
51日以上～100日以下	20	1	21
101日以上～150日以下	18	0	18
150日以上～200日以下	10	0	10
201日以上	10	0	10
計	138	44	182
平均通所日数	68	13	61
最少日数	0	0	
最大日数	237	66	

表.7-1 平成26年度終了者の終了時転帰

転帰区分	男	女	計
就労	6	0	6
事業所	11	10	21
在宅	7	2	9
入院	4	0	4
死亡	1	1	2
その他	1	1	2
計	30	14	44

表.8-1 居住地別状況

居住地	男	女	計
札幌市内	100	45	145
札幌市以外	29	8	37
計	129	53	182

c 年度別通所開始者・終了者数

（高次脳機能障害 再掲）

（単位：人）

年 度	通所開始者	通所終了者
昭和63年度～平成27年度 高次脳機能障害	785 (42)	629 (22)
平成28年度 高次脳機能障害	34 (2)	44 (6)
計	819 (44)	673 (28)

d 年度別通所終了者の理由

	年 度	就労	事業所	在宅	中断	入院	死亡	その他	計
総数	昭和63年度～平成27年度 (高次脳機能障害 再掲)	111 (3)	138 (7)	111 (4)	40	198 (6)	5 (1)	26 (1)	629 (22)
	平成28年度 (高次脳機能障害 再掲)	6 (1)	21 (5)	9		5	1	2	44 (6)
	総計	117 (4)	159 (12)	120 (4)	40	203 (6)	6 (1)	28 (1)	673 (28)

e 通所希望見学者及び受理面接者数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学者数	精神科デイケア	5	2	3	2	3	4	4	6	3	3	3	6	44
	高次脳機能障害					2						1		3
受理面接者数	精神科デイケア	6	3	3		2	1	1	3		4	1	3	27
	高次脳機能障害					1	1							2

f デイケア年間行事実施状況

月	日	曜 日	行 事 名	参 加 人 数 (メンバー)	実施場所	備 考
7	29	金	日帰り旅行	41	サッポロさとらんど	
10	14 15	金 土	センター祭	85	当センター	
12	28	水	臨時デイケア(もちつき大会) 町内交流 年納め会	36	当センター	
1	4	水	新年会	28	当センター	

g 関係団体の支援及び各種行事への参加状況

月	日	支 援 及 び 行 事 名
4	28	NP0法人オーク会理事会
5	13	高次脳支援関係者会議
5	17	道新社会福祉振興基金
5	25	ピアサポーター打ち合わせ
6	2～3	精神神経学会
6	8	人権擁護委員会講師
6	16	北海道精神科リハビリテーション研究会打ち合わせ
6	21	北海道精神保健協会理事会
6	28	北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会 打ち合わせ
7	12	道回連打ち合わせ
7	12	るーぷ親の会講師
7	12	ノースアクト研修打ち合わせ
7	14	相談支援事業所連絡会議
7	27	札幌市ピアサポーター交流会
8	10	北家連体育大会
9	2	札家連ソフトボール大会監督会議
9	8	相談支援事業所連絡会議
11	28	犯罪被害者支援員研修講師
12	13	札幌市集団指導
2	16	北海道精神科リハビリテーション研究会打ち合わせ
2	27	札家連体育大会監督会議
3	16	自殺対策担当者意見交換会
3	23	ノースアクト研修打ち合わせ

h 受入会議・スタッフミーティング

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
スタッフミーティング	17	17	21	19	16	14	18	17	14	13	15	16	197
プログラム会議	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	14
受入会議	6	2	5	1	1	3	1	4		3	3	2	31
クラブ講師打ち合わせ会	1												1

② OB会活動支援

a アフターケア（OB会）関連業務

月	日	曜日	内 容	場 所	参加人数
8	31	水	幹事会（交流会の企画）	こころのリカバリー総合支援センター	5人
11	26	土	元気でやっとなる会（交流会）	香香厨房（札幌市中央区）	20人
1	18	水	幹事会（交流会の企画） 機関誌（こまん・たれ・ぶー）編集・発送	こころのリカバリー総合支援センター	5人
3	25	土	元気でやっとなる会（交流会）	ポレール&糧とく（札幌市中央区）	14人

③ 家族会活動支援

a 家族会関連業務

（単位：人）

月	日	曜日	内 容	出席人数
4	6	水	総会準備	8名
4	20	水	総会	23名
5	2	月	発送 役員会	6名
5	18	水	所長を囲んで	23名
6	1	水	発送	6名
6	15	水	通所者メンバーとの交流会（野外バーベキュー）	18名
7	6	水	発送	6名
7	20	水	ここプロの活動報告 話し合い	21名
8	3	水	発送	6名
8	17	水	SST体験 話し合い	18名
9	7	水	発送	6名
9	21	水	話し合い 中野さんを囲んで センター祭打ち合わせ	23名
10	5	水	発送	6名
10	15	土	センター祭	21名

(単位:人)

月	日	曜日	内 容	出席 人数
11	2	水	発送	6名
11	16	水	グループホーム見学 アサヒビール園バイキング	16名
12	7	水	発送	6名
12	21	水	ビデオ鑑賞(札幌家連大会基調講演) お楽しみ会	20名
1	4	水	発送	6名
1	18	水	新年会	24名
2	1	水	発送	6名
2	15	水	SST学習会、話し合い	13名
3	1	水	発送	6名
3	15	水	1年の振り返り、来年度の活動について話し合い	17名

④ 地域生活支援事業

a 地域生活支援業務

(単位:回数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家 庭 訪 問		2	3	3	1	2	1	1	1	1	5	5	4	29
同行支援	病 院													0
	区役所等			2							1	1	1	5
	そ の 他													0

b アフターケア及び相談関連業務件数(延べ人数)

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
○ B	6	9	6	5	10	10	10	6	7	14	5	3	91
OB 家 族 等	10	11	11	7	7	4	4	13	12	16	8	10	113
そ の 他 一 般 相 談	3	9	1	3	0	2	1	1	2	1	0	2	25
関係機関との電話相談、 打 ち 合 わ せ	12	9	20	10	9	13	8	8	1	4	16	20	130

□ 障害者就労支援事業

① セミナー、模擬的な就労体験等

a 就労支援関連業務

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就 労 プ ロ グ ラ ム								3	7	2			12
関係機関との打ち合わせ	3	2	1				2	1					9
計	3	2	1	0	0	0	2	4	7	2	0	0	21

② 職場訪問

a 職場訪問、事業所訪問等

(単位:回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ハローワーク訪問													0
職場訪問、事業所訪問等			3	2	1		5	3	6	7	5	3	35
計	0	0	3	2	1	0	5	3	6	7	5	3	35

ハ 障害者総合支援法に基づく福祉サービス事業

(イ) 多機能型事業所（就労移行支援事業・就労継続支援B型事業）の運営

平成28年6月16日より就労継続支援B型事業（ここリカ・プロダクション）に就労移行支援事業（ここスタ）を加え、多機能型事業所として、運営を始めた。

スタッフ構成（就労移行＋就労継続Bの多機能型）（平成29年3月31日現在）

職種	勤務形態
管理者・サービス管理責任者	常勤・兼務1名
生活支援員	非常勤・専任3名
職業指導員	常勤・専任2名
就労支援員	常勤・専任1名
目標工賃達成指導員	常勤・専任1名
調理員	非常勤3名

① 就労移行支援事業所（ここスタ）の運営

開所当初は、プログラムの作成、通所者募集のリーフレット作成、宣伝活動を中心に行ってきた。同時に、リカバリーセンターのプログラムで就労支援を体験するプログラムを実施するなど、新規メンバーの受け入れを進めてきた。平成28年3月より2名が通所開始となり、一般企業への就職に向けてトレーニングしている。生活状況や就労経験を踏まえ、リカバリーの視点を通して支援をイメージしている。次年度は、個別の支援を中心に、職場実習、求職活動など具体的な動きにつなげていく。

また、メンバーの募集を引き続き行うとともに、プログラムの充実を図っていく。

a メンバー構成（平成29年3月31日現在）定員6名

反復性うつ病性障害、特定不能なもの	1名
広汎性発達障害、注意欠如多動性障害	1名

全て男性

b 手帳の取得状況

精神保健福祉手帳

3級	2名
----	----

② 就労継続支援B型事業所（ここりカ・プロダクション）の運営

開所３年目を迎え、工賃アップのための仕事の拡充と映像分野への取り組み強化を中心に仕事を行ってきた。直接の収入にはつながらないが、自主映像作品の製作と市民メディアフェス（沖縄）、TVF（東京）への出品も行った。そのことにより、市民メディアの活動に触れ、大きな刺激と次回作への意欲をもらい、TVF2017 アワードにも選ばれ、受賞式にも参加してきた。また、白石区複合庁舎がオープンに伴い、定期的に制作した映像を上映する場所を提供していただけているために、意欲的に作品制作を行なえている（街づくりイベント広場の活用）。

また講義などの仕事では、北海道内はもちろん道外の機関から呼んでいただき、ここりカ・プロダクションの活動を紹介する機会もいただいた。講義の準備を通じて、メンバー自身の更なるリカバリーにつながっていると考えられる。

次年度は、映像制作のレベルをさらに上げるために、TVFの授賞式でも指摘された、「音声」収録の技術向上に取り組んでいく。また、仕事の拡張に伴いメンバーの募集も続けていく。

a メンバー構成 （平成29年3月31日現在）定員14名

①性別： 登録者18名 （男性15名、女性3名）

②年齢： 平均年齢41.3歳 （最低21歳、最高54歳）

③疾患別：

疾患名	人数
統合失調症	9
アスペルガー症候群	1
広汎性発達障害	1
広汎性発達障害・高次脳機能障害	1
広汎性発達障害・混合性不安抑うつ障害	1
自閉スペクトラム障害・双極性感情障害	1
高次脳機能障害（身体障害）	1
精神遅滞（軽度）・身体表現性障害	1
双極性障害	1
発達障害（疑）	1
計	18

b 福祉手帳取得状況（1名重複取得）

手帳等級	人数
精神保健福祉手帳2級	13
精神保健福祉手帳3級	1
身体障害者福祉手帳1級	1
療育手帳B	2
なし	2
計	19

c 通所者数

平成28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	15	15	15	15	15	16	17	17	17	17	18	18
平均通所者数	12.4	12.1	12.5	11.95	11.4	13.8	13.6	13.6	14.89	14.4	14.85	13.7
通所率	82.7%	80.7%	83.3%	79.7%	76.0%	86.3%	80.0%	80.0%	87.6%	84.7%	82.5%	76.1%
平成27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	18	18	17	17	17	17	17	15	15	15	15	15
平均通所者数	15.9	15.6	15.4	15.3	13.7	14.1	13.8	13.7	12.25	13.3	12.7	12.5
通所率	88.3%	86.7%	90.6%	90.0%	80.6%	82.9%	81.2%	91.3%	81.7%	88.7%	84.7%	83.3%
平成26年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数			18	18	17	18	18	18	18	17	17	18
平均			16	16.1	15.5	16.4	16.2	16.2	16.5	15.2	14.7	15.4
通所率			89%	89%	91%	91%	90%	90%	92%	89%	86%	86%

d 工賃



H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28年度
総支給額	176,193	160,693	186,493	186,193	181,693	195,793	228,293	218,793	205,693	221,793	223,393	204,393	2,389,412
平均	11,746	10,713	12,433	12,413	12,113	12,237	13,429	12,870	12,100	13,047	12,411	11,355	12,239

H27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H27年度
総支給額	143,379	140,079	143,579	177,879	141,379	148,379	163,979	177,379	148,779	152,179	143,979	184,779	1,865,748
平均	7,965	7,782	8,446	10,463	8,316	8,728	9,646	11,825	9,919	10,145	9,599	12,319	9,596

e 活動内容

○大学等での講義

機関名	回数	内容（日付）
道都大学（現：星槎道都大学）	2	事前打ち合わせ（10/13）、講義（11/9）
北翔大学	4	事前打ち合わせ（5/25）、 講義（6 / 30、10/4、10/11）
札幌学院大学	7	事前打ち合わせ（5/25、5/ 31、10/ 7） 講義（6 / 13、12/8）、合宿（8 / 16、8 / 17）

機関名	回数	内容（日付）
北海道医療大学	3	講義（5/24）作業療法学科 OSCE（7/11） 打合せ（1/31）
日本医療大学	3	講義（4/21、4/22）、事前打合せ（9/5）
北翔大学	4	事前打合せ（5/25）講義（6/30、10 / 4、10 / 11）
北星学園大学	2	講義（12/12）、事前打ち合わせ（3/31）
札幌医科大学	2	事前打ち合わせ（10/6）講義（11/24）
千歳リハビリテーション学院	1	講義（11 / 14）
北海道リハビリテーション大学 校	3	事前打ち合わせ（6/6、10/24）講義（7/6、11/7）

○専門職向け研修講師

研修名	回数	日付
オホーツクメンタルヘルス懇話会	1	10/16
社会福祉法人 北広島市社会福祉協議会	1	10/21
社会福祉法人 北海道社会福祉協議会	4	9/9、9/14、11/15、11/22
就労支援フォーラム 2016（主催：公益財団法人 日本財団）	2	12/3、12/4
北海道家庭生活総合カウンセリングセンター	2	講義（9/6、10/25） インターネット配信業務 全 27 回期間（4/21～7/28）
北海道高次脳機能障害リハビリテーション講 習会	1	12/10
北海道精神保健協会	4	10/1 機関誌発送作業（9/2、 9/5、2/27）
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	1	7/30
NP0 法人北海道地域ケアマネジメントネッ トワーク	3	2/16、10/19、6/22

○映像の撮影・編集

内容	回数	日付
「地域ぬくもりサポート事業」事業紹介映像制作に 係る撮影	3	打合せ 4 回、撮影 3 回 期間（9/6～2/20）
「平成 28 年度手稲区災害時支え合い研修会業務」映 像制作	1	打合せ 1 回 期間（1/10～1/17）
「京極町地域福祉拠点プレオープン」映像制作に係 る撮影	2	撮影 2 回 期間（3/17～3/30）

内容	回数	日付
札幌市白石東地区センター／「白石東地区センター二十年のあゆみ」映像制作	19	打ち合わせ15回 撮影4回 期間（4/1～10/16）
公益財団法人 札幌市青少年女性活動協会／「児童館等における「遊びのプログラム」の開発・普及にかかる調査研究業務（モデル児童館）について」報告資料映像制作	11	打合せ3回、撮影8回 期間（11/18～H29.3月）
NP0 法人しりべし圏域総合支援センター／「地域移行支援を考えるつどい～ピアサポーターとともに～」映像制作	1	期間（5月～7月）
北海道 NP0 被災者支援ネット 映像制作	1	打合せ1回、撮影1回 期間（9/8～11/24）
公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンター／「カウンセラー養成講座」インターネット配信	28	打合せ1回、撮影27回 期間（4/21～7/28）
NP0 法人北海道地域ケアマネジメントネットワーク／「北海道行動援護従事者養成研修」映像制作	5	打合せ1回、撮影2回 期間（10月～1月）
北海道ひきこもり成年相談センター・札幌市ひきこもり地域支援センター／「ひきこもりサポーター養成研修会」映像制作	2	打合せ1回、撮影1回 期間（1/25～2/8）
蒔水会浦河ひがし町診療所／映像制作	3	打合せ1回、撮影2回 期間（5/25～3/31）
「北海道精神保健福祉士養成校協会 2016 年度研修会」映像制作	1	撮影1回 期間（11/19～1月）
「北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会」映像制作	1	撮影1回 期間（12/10～H29.3月）

○実践報告・調査研究

内容	回数	日付
北海道精神保健福祉士協会春季研修	1	6/4、6/5
ピアサポーター研修報告	1	9/28
北海道福祉4団体実践交流会	1	11/5

○その他

内容	回数	日付
北海道精神保健協会 こころの健康 封入作業	2	9 / 2、9/5、2/27
柏町内会 ポスター等作成	2	5/30、7/13
全国児童家庭支援センター研究協議会 代筆	1	10/3
北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会ポスター封入作業	1	10/24
東京ソテリア 交流研修「フィジーから学ぼう」実施協力	1	1/12
遠紋圏域精神障がい者地域移行研修	1	紋別市 10/17
富良野圏域精神障がい者地域移行研修 ピアカウンセリングセミナー	1	富良野市 (10 / 27、10 / 28)
北渡島・檜山圏域精神障がい者地域移行研修 ピアカウンセリングセミナー	1	今金町 (2 / 14、2 / 15)

○行事

内容	日付
所内行事	
リハビリセンター合同防火訓練	9/27
親睦行事	お花見 (5 / 13)、定山溪旅行 (12 / 15、12 / 16)
こころのリハビリ総合支援センター行事への参加	
センター祭出店	(10/15)

○地域連携

機関	回数	日付
白石かがやき園	1	かがやき園祭参加 (8/28)
ぴあとぴあ 17	1	ぴあとぴあ 17 秋まつり参加 (9 / 17)
柏町内会	3	町内会総会 (4 / 17)、親睦日帰り温泉旅行 (7 / 4)、新年会 (1/15)
柏町内会・柏山会	1	「避難所運営ゲーム北海道版 (Do はぐ) 体験会」実施、(3/3)
白石区自立支援協議会	22	定例会 12 回、運営部会 10 回、研修 2 回

○研修受講状況

研修
北星学園大学公開講座「メディアとは何を伝えるのか」
リカバリーフォーラム 2016
東京ソテリア見学
市民メディフェス参加
沖縄県内事業所見学
厚別区自立支援協議会「障害者差別解消法について学ぶ」
白石区自立支援協議会「障がい福祉に関する生活保護制度に関する勉強会」
元気ジョブ 事業アップセミナー
北星学園大学出張講座「障害者差別解消法と合理的配慮について」
こころのピアサポートフォーラム

○見学者来所状況

	総人数	通所希望	関係機関	教育機関	実習生	ボランティア	リカバリーメンバー	O B	その他
4月	2		1		1				
5月	4		3		1				
6月	20	2	10	1	2	3	2		
7月	11	1	6	3		1			
8月	10	2	1	2	5				
9月	11	1	2	3	5				
10月	10	3		2	5				
11月	17	3	6		8				
12月	9	2	1	1	5				
1月	10		7	3					
2月	4	2			2				
3月	5	1	2	1	1				
計	113	17	39	16	35	4	2	0	0

(ロ) 相談支援事業所の運営

① ココクルの運営

障害者総合支援法に基づき、就労支援事業やグループホーム等の障害福祉サービスの利用促進を図るため、新たに相談支援専門員による「相談支援事業所」を開所し、一般及び特定相談支援体制を整備することにより、専門性が高く、よりきめ細かい支援を行っている。

施設名称：相談室 ココクル

場 所：こころのリカバリー総合支援センター内

開設年月：平成28年6月

○平成28年度 相談実績

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	0	2	6	2	2	0	1	1	3	6	23
電話相談	0	3	12	4	5	6	2	5	3	5	45
面接相談	0	0	7	11	10	8	14	10	9	9	78
訪問支援	0	1	3	1	6	8	8	9	7	13	56
関係機関との連絡	0	1	14	8	8	9	8	10	11	15	84
計 (相談)	0	5	36	24	29	31	32	34	30	42	263

(2) 精神障害者の社会参加を支える体制の整備及び啓発普及

イ 精神保健思想の啓発普及と研修事業

① 地域精神保健スタッフ等研修事業

a デイケア・事業所スタッフのための研修・講座

(単位：人)

月 日		開催地	参加人数
8月20日(土) 8月21日(日)	『使えるソリューション』2日間連続研修会	当センター	26
9月14日(水)	ソリューションでアウトリーチを学ぼう！①	当センター	19
11月9日(水)	ソリューションでアウトリーチを学ぼう！②	当センター	15

② 実習生、見学の受け入れ事業

a 施設見学等来所者状況

月	日	曜日	来所者・所属機関	人数
5	6	金	札幌市こども未来局職員	2
5	9	月	事業所リフラブ職員	1
5	23	月	就労移行支援事業所クロスジョブ	1
5	23	月	相談支援事業所ほっと相談センター職員	2
5	27	金	中国・沈陽市精神保健センター	4
6	9	木	JAIC職員	1
6	24	金	英会話講師	1
6	30	木	札幌市生活就労支援センターステップ職員	2
7	5	火	レターポストフレンド職員	1
7	5	火	釧路リカバリーセンター職員	2
7	5	火	デューン江別職員	1
8	3	水	カウンセリングセンター受講者	12
8	18	木	静岡県議会議員	5
9	14	水	多機能型事業所カラフル職員	1
9	15	木	札幌市生活就労支援センターステップ職員	2
12	6	火	コロポックル札幌職員	2
1	12	木	北海道医療新聞職員	1
1	17	火	北海道精神保健センター職員	2
合計				43

b 実習生受入状況・教員会議及び訪問による打ち合わせ

(単位:人)

所属機関	回数	日数	実人数
医学部（北海道大学）	3	7	9
看護学科（北海道医療大学）	6	18	14
福祉系学科（北海道医療大学、札幌学院大学、北翔大学、道都大学）	9	36	19
作業療法学科（北海道大学、札幌医科大学、北海道リハビリテーション大学校）	5	71	24
臨床心理学（北海道大学大学院）	1	5	2
計	24	137	68

※土日祝日除く

③ 市民講座の開催

a 市民講座、精神科リハビリテーションセミナー

(単位:人)

月 日	内容	開催地	参加人数
3月31日(金)	ひきこもり相談から感じたこと～社会参加に至った事例を通して～	白石区民センター	81

④ 精神障害者等に関する調査・研究事業

a 三菱財団社会福祉事業・研究

研究期間	平成 26 年 10 月～平成 28 年 9 月までの 2 年間
研究テーマ	ピアサポーターと協働した精神科「社会的入院」患者に対してのモチベーション・サポートの効果的な実践の研究
研究の目的	精神疾患の自らの経験を活かし、他者をサポートするピアサポーターと協働し、精神科病院に長期入院しているいわゆる「社会的入院」患者に対して、交流会を継続的に行い、「退院したい」「退院できるかも」という内在化しているモチベーションをサポートするには、どのような点に留意すべきかなど効果的な方法を研究する。また、そのようなピアサポーターの存在が、入院患者やその支援を行う関係者に対してどのような影響を与えるのかも研究する。
具体的な内容	札幌市内の協力病院 2 病院の病棟に、グループ訪問し、長期入院者と定期的に交流（茶話会）をもつことで、参加者（長期入院者、病棟スタッフ、ピアサポーター等）の意識がどのように変化するかなどを調査し、まとめた。 【茶話会実施回数】（平成 28 年 9 月 31 日現在） A 病院 10 回 B 病院 8 回 【茶話会実施のためのミーティング】 22 回
研究報告の作成	平成 28 年度公益財団法人三菱財団社会福祉事業・研究助成成果報告書「精神科長期入院患者さんとの茶話会の試みーピアサポーターによるグループ訪問の経験ー」を作成。道内の医療機関に配布
研究報告の提出	平成 29 年 3 月 31 日に三菱財団に論文を提出

ｂ「デイケア・プログラムの利用状況と薬物アドヒアランスの関係についての研究」

（北海道臨床精神薬理研究会助成事業）

精神科リハビリテーション（デイケア）に通所しているメンバーの、薬物アドヒアランスがプログラムの利用状況とどのような関係があるかを、量的・質的に分析する研究。継続して研究中。

ｃ「精神障害ピアサポーター」普及啓発事業（北海道新聞社会福祉振興基金一般公募助成）

実施期間	平成 28 年 9 月 21 日～平成 29 年 3 月 24 日
事業の実施概況	1. ピアサポーターと協働して、札幌市内の精神科病院 2 病院に定期的にグループ訪問を行って、長期入院者と交流した。この活動を通して、協力機関の職員（看護師等）が精神障害者の持つ可能性を発見できる環境をつくる。 茶話会実施 4 回 病院ＯＴへの参加 3 回 医療機関との打ち合わせ 4 回 ピアミーティング 7 回 2. 報告会を兼ねた研修会の実施により医療を含めた関係者の精神障害に対する意識の変化につなげていく。報告会は平成 29 年 3 月 24 日に実施（参加者 96 名）
事業の効果	この事業の目的は、「精神障害ピアサポーター」と協働して①長期入院者へのエンパワーと②関係専門職等（医療機関の看護師等）に新たな障害者像を啓発提示し意識改革することを狙い、ひいては「社会的入院」を少しでも減らす突破口の一つをつくることだった。これらについては、ある一定程度の効果があったと考えている。それは協力機関の 2 病院ともピアサポーターとの交流会について、参加した長期入院者の行動変容などから意義を感じ「今後も続けてほしい」という意向を示していることから推察できた。

⑤ 北海道精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業）

ａ 地域移行研修会

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H28. 7. 22(金)	砂川総合福祉センター （中空知）	57 名 （10）	○体験報告 『こころの病と回復に役立ったこと～当事者から・家族から～』 発表者：当事者・家族 ○講義 『統合失調症について～障害の理解とリカバリー』 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長
H28. 9. 2(金)	北見市端野町 石倉交流センター （北網）	56 名 （9）	○活動報告と意見交換 活動報告① 『北網圏域における地域移行の現状とピアの活動について』 報告者：サポートネット北見センター長・ピアサポーター 活動報告② 『上川北部圏域におけるピアサポーターの活動について』 報告者：道北地域生活支援センター職員・ピアサポーター

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H28. 9. 15(木)	深川市総合福祉 センター （北空知）	24名 （16）	○交流研修会（活動報告） 『空知ピアサポーター交流研修』 活動報告①「空知におけるピアサポーター活動について」 発表者：地域生活支援センターぼぼろ ピアサポーター 発表者：南空知地域生活支援センターりら ピアサポーター 活動報告②「他圏域のピア活動～札幌市内の2病院での茶話会について」 発表者：ピアの会メンバー リカバリーセンター職員
H28. 9. 16(金)	名寄市立総合病院 新館3階会議室 （上川北部）	47名 （11）	○講義と寸劇 講義1『統合失調症について（病気と障害の理解）』 寸劇『長期入院者の退院について』 講義2『リカバリーについて』 講師：就労継続B型事業所 ここりカ・プロダクション メンバー・職員 ○グループワーク
H28. 10. 7(木)	留萌市保健福祉センター はーとふる （留萌）	25名 （2）	○講義とグループワーク 講義：『こんな時どうしたらいい？精神障害者との関わり～対応のQ&A～』 講師：こころのリカバリー総合支援センター所長
H28. 10. 17(金)	紋別市総合福祉センター （遠紋）	26名 （16）	○演習・講義・意見交換 『ピアカウンセリングを用いた研修～リカバリーを語り合う～』 講師：ここりカ・プロダクションメンバー・職員
H28. 10. 27(木) ～28(金)	ラベンダーの郷 （富良野）	11名 （7）	○ピアカウンセリング研修 講師：就労継続B型事業所ここりカ・プロダクション メンバー・職員
H28. 11. 4(金)	後志総合振興局 （後志）	52名 （9）	○講演・シンポジウム 基調講演『出雲市における退院支援～経済的な側面からの検討～』 講師：相談支援事業所Reve 相談支援専門員・看護師 話題提供『地域移行のことなる側面から考えてみた～倶知安厚生病院の取り組み』 話題提供者：倶知安厚生病院精神科主任医長 シンポジウム「リカバリーとお金の関係」 シゴジスト；倶知安保健所 主査 余市社会福祉事務出張所 所長 北雄ラッキー株式会社岩内店 店長 精神障害者地域生活支援センターしりべし センター長
H28. 11. 7(月)	市立稚内病院 （宗谷）	18名 （2）	○講義と意見交換 講義『ピアサポーターの皆さんが聞き取ることの意味』 講義『ピアサポーター活動の意義と可能性』 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長
H29. 2. 8(水)	北斗市総合文化センター 「かなで～る」 （南渡島）	38名 （0）	○講義 講義『精神の障害には長い長い入院治療が必要だったのか？～歴史と現状』 講師：こころのリカバリー総合支援センター 所長
H29. 2. 14(火) ～15(水)	八雲保健所 今金支所 （北渡島・檜山圏域）	20名 （8）	○ピアカウンセリング研修 講師：就労継続B型事業所ここりカ・プロダクション メンバー・職員

日 時	会 場（圏域）	参加者 （当事者数）	内 容
H29. 2. 14(火)	室蘭保健所会議室 （西胆振）	11名 （0）	○エリア別研修会の報告と意見交換
H29. 3. 3(金)	道立江差病院 （南檜山）	25名 （1）	○支援報告 報告1『入院・通院時の様子、現在の医療状況』 報告者；道立江差病院神経精神科副看護師長 報告2『居宅介護支援の状況について』 報告者；厚沢部町社会福祉協議会サービス提供責任者 報告3『町事業「わさび教室」での事例の様子』 報告者；厚沢部町役場 保健福祉課課長補佐 報告4『これまでのピアサポーターとしての関わりについて』 報告者；函館地域生活支援センター所長・ピアサポーター 報告5『江差保健所での関わりについて』 報告者；江差保健所 保健師 ○まとめ こころのリカバリー総合支援センター所長
H29. 3. 24(金)	かでの 2.7 （札幌）	96名 （58）	○実践報告・シンポジウム 実践報告『札幌市における2病院での茶話会の概要』 報告者；ピアの会ピアサポーター リカバリーセンター職員 実践報告『当事者活動の立場から』 報告者；NPO法人すみれ会 実践報告『札幌市内のピアサポート活動』 報告者；ワール所長・札幌市ピアサポーター 実践報告『当事者性を生かして働く』 報告者；多機能型事業所エールライブ職員 シンポジウム テーマ『北海道におけるピアサポート活動の現状と展望』

b エリア別研修会

日 時	会 場	参加者	内 容
H28. 10. 20(木) ～21(金)	旭川障害者福祉センター おびった （旭川市）	46名 （5）	○講義と実践報告・演習 講師；一般社団法人支援の三角点設置研究会 地域生活支援センターゆずり葉 施設長 医療法人小憩会ACT-ひふみ 看護師 実践報告；道北地域生活支援センター長・ピアサポーター
H28. 11. 10(木) ～11(金)	市民活動プラザ六中 （帯広市）	30名 （5）	○講義と実践報告・演習 講師；一般社団法人支援の三角点設置研究会 山梨県立あゆみの家 精神保健福祉士 地域生活支援センターサポートセンターきぬた精神保健福祉士 実践報告；サポートネット北見センター長
H28. 12. 8(月) ～ 9(火)	かでの 2.7 （札幌市）	45名 （5）	○講義と実践報告・演習 講師；一般社団法人支援の三角点設置研究会 相談支援事業所レーヴ相談支援専門員・精神科認定看護師 会津若松市障がい者総合相談窓口 相談支援専門員 実践報告；精神障害者地域生活支援センターしりべしピアサポーター 滝川市立病院 診療部地域医療室精神保健福祉士

日 時	会 場	参加者	内 容
H29. 1. 26(木) ～27(金)	室蘭市中小企業センター (室蘭市)	36名 (4)	○講義と実践報告と演習 講師；独立行政法人 総合病院旭中央病院 精神保健福祉士 半田市障がい者相談支援センター 副センター長 実践報告；ミネルバ病院 精神保健福祉士 日高圏地域生活支援センター長

c ピアサポーター研修

年月日	参加者 (当事者再掲)	開催場所	内 容
H28. 9. 28 (水) ～9. 30 (金)	80名 (58)	定山溪ホテル	1日目 【開会式・オリエンテーション】 【研修報告】『全国リカバリーフォーラム 2016』報告 【GW1】①自己紹介 ②日頃のピア活動と研修で学びたいこと 【交流会】 2日目 【実践報告1】『ピアサポートの現在・そしてこれから』 報告者：(社) 日本メンタルヘルスピアサポート専門員研修機構 理事長・事務局職員 【GW2】報告を聞いて、感想を話し合おう！ 【演習】『地域移行を促進するポスターのアイデア募集を通して ～長期入院者の支援のあり方について考える』 報告者：医療法人社団五稜会病院 看護師 3日目 【話題提供】『研修終りにあたって』 発言者：こころリカバリー総合支援センター 所長 【GW3】2日間の感想を話し合う 【閉会式】

□ 高次脳機能障害者支援事業等

① 相談窓口及びリハビリ提供

a 高次脳機能障がい者支援事業(リハビリ提供・地域生活支援事業)【在宅生活支援事業】

1. 支援プログラムの実施状況及び相談件数

○リハビリテーションプログラム実施状況(※通所登録者数は各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所登録者(人)	15	15	15	15	15	16	15	16	16	16	16	16	
実施回数(回)	20	19	22	20	22	20	21	20	19	19	20	22	244
延べ人数(人)	74	70	80	76	79	83	83	77	77	69	82	78	928
1日平均通所者(人)	3.7	3.7	3.6	3.8	3.6	4.2	4.0	3.9	4.1	3.6	4.1	3.5	3.8

※終了者としては就労継続事業所へ移行し定着したため終了に至ったケースがあった。

【プログラムの内容】

AM：全通所者による話し合いで構成される文化系活動

(カラオケ、カードゲーム、茶話会等)

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

(バドミントン、サッカー、卓球等)

小グループ (20 名以下) による話し合いで構成される活動

(料理、話し合い、外出等)

認知訓練 グループで行う認知訓練、個別プリント課題、FEP など

軽スポーツ エクササイズやヨガ等のゆるやかな運動

目的別の登録制のグループ活動 (就労プログラム、心理教育、WRAP 等)

PM : 全通所者による話し合いで構成される文化系活動

(カラオケ、カードゲーム、茶話会等)

全通所者による話し合いで構成されるスポーツ活動

(バドミントン、サッカー、卓球等)

行事の企画運営グループ等

創作活動 (陶芸、絵画、工芸)、

話し合い系活動 (歴史、英会話、茶道等) 火曜日、木曜日

行事への参加 : 日帰り旅行 センター祭 体育大会

※通所日数は、他機関との併用、体力や精神的疲労の度合いなど個々の状況に合わせて決定している。その中で複数あるプログラムから自分に適したプログラムを選択し参加する。(必要に応じスタッフがプログラム選択の助言を行う)

○相談支援件数と内容

	計
電話 (家族・本人)	59
電話 (関係機関)	43
来所相談 (家族・本人)	125
文書・メール	18
見学 (家族・本人)	2
見学 (関係機関)	1
計	248

【相談内容】

- ・ 本人～対人関係や生活上の悩みや不安、就労等への準備、日常生活における計画や手順の工夫など
- ・ 家族～関わり之苦労、工夫を聴くほか、本人と他の家族との意思疎通や目標確認
- ・ 医療機関 (脳神経外科・リハ科・精神科病院、クリニック) ～退院後の支援、リハビリテーションについて
- ・ 行政機関、就労支援・介護支援・相談支援事業所～受け入れ先について、対応困難なケースについて

○同行支援・家庭訪問件数と内容

・ 同行支援 【6 件】

就労・就学に向けた同行支援を主に行う。実際に就労継続支援事業所への見学や体験に同行する。本人同席での支援検討会議も行った。

・ 家庭訪問 【5 件】

家庭での生活状況の確認。単身者への家事等の本人の自立に向けた助言、指導を行った。関係機関との支援調整等を訪問で行った。

○精神科医による診察

・ 外来診察 【13 件】

近年はデイケア利用者だけではなく、定期的な診察や生活支援のために利用する方も増えている。手帳の申請や、裁判に係る意見書を作成。

2. 支援計画の作成と評価

○支援計画作成

	インテーク面接	受け入れ会議（計画作成）
計	2	2

○本人・家族の目標設定と振り返り

	実 施 内 容
4 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
4 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）
10 月	座談会（グループの中でのリハビリの振り返りとフィードバック）
10～11 月	定期面接（本人・家族同席での振り返りと目標設定）

3. 支援調整・検討会議の開催

○施設内支援検討会議

64回／年

利用者の支援計画作成や支援計画見直しのため他職種で行う。

○他機関と行った支援調整会議 12回／年

復学や就労に向けた支援や生活支援のため、福祉サービス職員、医療機関職員、学校関係者等

4. 支援ネットワークの構築

ホームページやパンフレット、研修会等で当施設を知った関係機関からの支援法や情報を求める連絡を受け、これまで確立したネットワークをもとに情報の伝達を行った。また、ケースを通じて就労継続事業所や保健師、介護支援専門員、訪問リハスタッフなどで支援目標の確認を共同で行うことや研修会の企画を共同で行うことで、お互いに相談でき対応の調整がしやすくなった。

② 北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会の開催

日本損害保険協会の助成を受け、一般市民等に対する高次脳機能障害に関する講習会を開催しており、その実行委員会の事務局を担っている。

○開催状況

年月日：平成28年12月10日（土）13：30～16：30

場所：北海道大学学術交流会館

参加者：168名

内容：当事者体験談及びQ&Aコーナー（支援関係者が会場の質問に答える内容）

※講演「高次脳機能障がい者を支援する」（講師：大阪府なやクリニック医師）を行う予定であったが、都合により、一部内容を変更し実施。

ハ ひきこもり対策推進事業

① 北海道ひきこもり成年相談センター・札幌市ひきこもり地域支援センターの運営

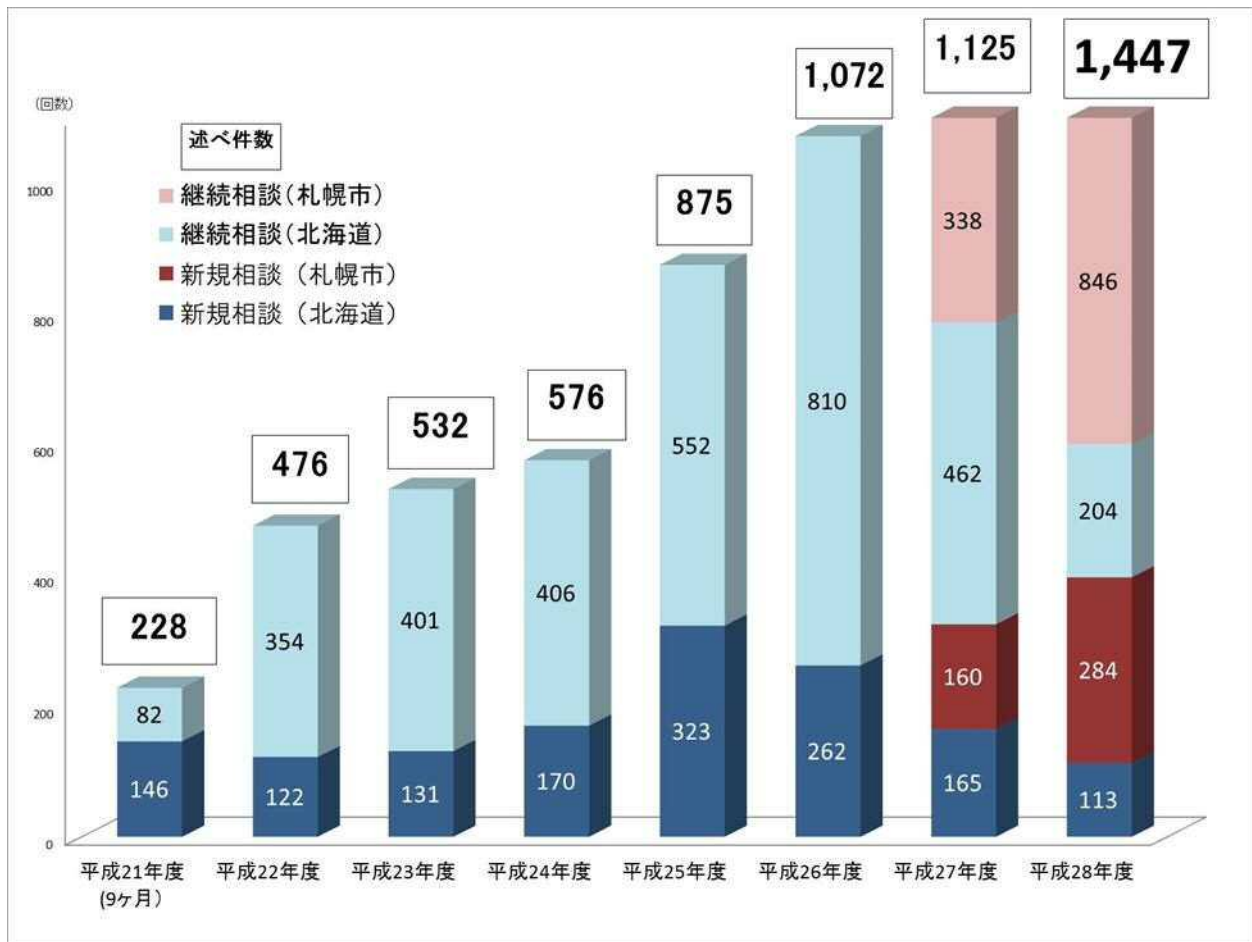
α 相談支援実施状況

1. 相談支援件数

○相談件数

(単位：件)

相談件数計	1,447 (北海道：317、札幌市：1,130)
新規相談	397 (北海道：113、札幌市：284)
継続相談	1,050 (北海道：204、札幌市：846)



○相談方法内訳（合算）

	新規相談	継続相談	計	構成比(%)
電話	334 〔北海道 93 札幌市 241〕	157 〔北海道 38 札幌市 119〕	491 〔北海道 131 札幌市 360〕	32.6% 〔40.1% 30.5%〕
来所	20 〔北海道 2 札幌市 18〕	370 〔北海道 67 札幌市 303〕	390 〔北海道 69 札幌市 321〕	25.9% 〔21.1% 27.2%〕
メール	39 〔北海道 14 札幌市 25〕	506 〔北海道 89 札幌市 417〕	545 〔北海道 103 札幌市 442〕	36.2% 〔1.5% 37.5%〕
アウトリーチ	4 〔北海道 4 札幌市 -〕	17 〔北海道 10 札幌市 7〕	21 〔北海道 14 札幌市 7〕	1.4% 〔4.3% 0.6%〕
小計	397 〔北海道 113 札幌市 284〕	1,050 〔北海道 204 札幌市 846〕	1,447 〔北海道 317 札幌市 1,130〕	
連携	-	59 〔北海道 10 札幌市 49〕	59 〔北海道 10 札幌市 49〕	3.8%
ケア会議	-	-	-	-
小計	-	59 〔北海道 10 札幌市 49〕	59 〔北海道 10 札幌市 49〕	
総計	397 〔北海道 113 札幌市 284〕	1,109 〔北海道 214 札幌市 895〕	1,506 〔北海道 327 札幌市 1,179〕	100%

2. 相談時間

○相談方法別相談時間区分件数

	0～ 15 分未満	15～ 30 分未満	30～ 60 分未満	60 分以上	合計	延べ相談 時間 (時：分)	平均 所要時間
電話	128 〔道 33 市 95〕	164 〔道 40 市 124〕	172 〔道 52 市 120〕	27 〔道 6 市 21〕	491 〔道 131 市 360〕	209:35 〔道 58:18 市 151:17〕	26 分 〔道 27 分 市 25 分〕
来所	2 〔道 1 市 1〕	4 〔道 3 市 1〕	28 〔道 4 市 24〕	356 〔道 61 市 295〕	390 〔道 69 市 321〕	469:10 〔道 76:40 市 392:30〕	1 時間 12 分 〔道 1 時間 7 分 市 1 時間 13 分〕
メール	328 〔道 54 市 274〕	152 〔道 32 市 120〕	61 〔道 16 市 45〕	4 〔道 1 市 3〕	545 〔道 103 市 442〕	133:41 〔道 28:28 市 105:13〕	15 分 〔道 17 分 市 14 分〕
アウトリーチ	0 〔道 市〕	0 〔道 市〕	1 〔道 1 市〕	20 〔道 13 市 7〕	21 〔道 14 市 7〕	35:35 〔道 18:35 市 17:00〕	1 時間 42 分 〔道 1 時間 20 分 市 2 時間 26 分〕
連携	24 〔道 4 市 20〕	29 〔道 5 市 24〕	2 〔道 0 市 2〕	4 〔道 1 市 3〕	59 〔道 10 市 49〕	17:49 〔道 3:10 市 14:39〕	18 分 〔道 19 分 市 18 分〕
ケア会議	-	-	-	-	-	-	-
計	482 〔道 92 市 390〕	349 〔道 80 市 269〕	264 〔道 73 市 191〕	411 〔道 82 市 329〕	1,506 〔道 327 市 1,179〕	865:50 〔道 185:11 市 680:39〕	35 分 〔道 34 分 市 35 分〕

○電話相談

延べ回数	実人数
391 回	378 名
〔道 131 市 360〕	〔道 102 市 276〕

○来所相談

延べ回数	実人数
390 回	147 名
〔道 69 市 321〕	〔道 25 市 122〕

○メール相談

延べ回数	実人数
545 回	75 名
〔道 103 市 442〕	〔道 23 市 52〕

※延べ回数はメール受信及び返信の回数

○アウトリーチ

延べ回数	
21 回	
道	14
市	7

3. 連携状況

連携先	件数
医療機関	22(道：6、市：16)
札幌市各区職員	10(道：0、市：10)
札幌市コールセンター	12(道：0、市：12)
札幌市生活就労支援センター	8(道：0、市：8)
民間企業、NPO 法人	7(道：1、市：6)
保健所	6(道：6、市：0)
士別市役所	5(道：0、市：5)
障がい者相談支援事業所	5(道：0、市：5)
教育機関	3(道：0、市：3)
地域包括支援センター	3(道：0、市：3)
札幌こころのセンター	3(道：0、市：3)
札幌市児童相談所	2(道：0、市：2)
介護関連事業所	2(道：0、市：2)
地域若者サポートステーション	2(道：2、市：0)
こども相談センター	2(道：2、市：0)
生活就労サポートセンター	2(道：2、市：0)
生活困窮者自立生活支援センター	1(道：1、市：0)
発達障害者支援センター	1(道：1、市：0)
障害者生活支援センター	1(道：1、市：0)
在宅福祉サービス	1(道：1、市：0)
北海道立精神保健福祉センター	1(道：0、市：1)
計	99(道：23、市：76)

4. 相談者の状況（新規初回相談）

○ 相談者内訳

（単位：件）

	件数	構成比 (%)
本人	72 [道 24 市 48]	18.1% [道 21.2% 市 18.1%]
父	51 [道 9 市 42]	12.8% [道 8.0% 市 14.8%]
母	159 [道 35 市 124]	40.1% [道 31.0% 市 43.7%]
両親	4 [道 0 市 4]	1.0% [道 0.0% 市 1.4%]

	件数	構成比 (%)
兄弟姉妹等	57 道 28 市 29	14.4% 道 24.8% 市 10.2%
配偶者	3 道 0 市 3	0.8% 道 0.0% 市 0.8%
その他	51 道 17 市 34	12.8% 道 15.0% 市 12.0%
計	397 道 113 市 284	100.0%

○相談方法別相談者内訳

(単位：回)

	電話	来所	メール	アウトリーチ	計
本人	54 道 19 市 35	5 道 1 市 4	13 道 4 市 9	0 道 0 市 0	72 道 24 市 48
父	42 道 9 市 33	4 道 0 市 4	5 道 0 市 5	0 道 0 市 0	51 道 9 市 42
母	141 道 31 市 110	5 道 0 市 5	13 道 4 市 9	0 道 0 市 0	159 道 35 市 124
両親	0 道 0 市 0	4 道 0 市 4	0 道 0 市 0	0 道 0 市 0	4 道 0 市 4
兄弟姉妹等	47 道 21 市 26	2 道 1 市 1	8 道 6 市 2	0 道 0 市 0	57 道 28 市 29
配偶者	3 道 0 市 3	0 道 0 市 0	0 道 0 市 0	0 道 0 市 0	3 道 0 市 3
その他	47 道 13 市 34	0 道 0 市 0	0 道 0 市 0	4 道 4 市 0	51 道 17 市 34
計	334 道 93 市 241	20 道 2 市 18	39 道 14 市 25	4 道 4 市 0	397 道 113 市 284

5. 当事者の状況

○当事者の年齢

(単位：人)

	男	女	不明	計	構成比(%)
20 歳未満	54 〔道 10 市 44〕	27 〔道 10 市 17〕	1 〔道 0 市 1〕	82 〔道 20 市 62〕	20.7% 〔道 17.7% 市 21.8%〕
20 歳以上～30 歳未満	85 〔道 26 市 59〕	21 〔道 5 市 16〕	0 〔道 0 市 0〕	106 〔道 31 市 75〕	26.7% 〔道 27.4% 市 26.4%〕
30 歳以上～40 歳未満	59 〔道 18 市 41〕	18 〔道 4 市 14〕	2 〔道 0 市 2〕	79 〔道 22 市 57〕	19.9% 〔道 19.5% 市 20.1%〕
40 歳以上～50 歳未満	54 〔道 16 市 38〕	17 〔道 5 市 12〕	0 〔道 0 市 0〕	71 〔道 21 市 50〕	17.9% 〔道 18.6% 市 17.6%〕
50 歳以上～60 歳未満	19 〔道 2 市 17〕	9 〔道 4 市 5〕	0 〔道 0 市 0〕	28 〔道 6 市 22〕	7.1% 〔道 5.3% 市 7.7%〕
60 歳以上	2 〔道 0 市 2〕	3 〔道 0 市 3〕	0 〔道 0 市 0〕	5 〔道 0 市 0〕	1.3% 〔道 0.0% 市 1.8%〕
不明	10 〔道 4 市 6〕	7 〔道 3 市 4〕	9 〔道 6 市 3〕	26 〔道 13 市 13〕	6.5% 〔道 11.5% 市 4.6%〕
計	283 〔道 76 市 207〕	102 〔道 31 市 71〕	12 〔道 6 市 6〕	397 〔道 113 市 284〕	100%

○ 当事者の居住地

北海道

(単位：人)

圏域	
石狩	31
後志	8
空知	11
胆振	5
日高	1
渡島	9
上川	8
留萌	1
オホーツク	7
十勝	5
釧路	5
根室	1
檜山	1
宗谷	1
道内	8
道外	2
不明	9
計	113

札幌市

(単位：件)

本人居住地	件数	構成比(%)
札幌市内	44	15.5%
札幌市白石区	44	15.5%
札幌市豊平区	20	7.0%
札幌市厚別区	21	7.4%
札幌市手稲区	18	6.3%
札幌市清田区	12	4.2%
札幌市中央区	24	8.5%
札幌市東区	29	10.2%
札幌市西区	22	7.7%
札幌市南区	18	6.3%
札幌市北区	32	11.3%
計	284	100.0%

6. 相談目的別件数

(単位：件)

内容	件数	構成比(%)
1 近隣の相談機関紹介希望	19 [道 10 市 9]	4.8% [道 8.8% 市 3.2%]
2 親の会を紹介して欲しい	0 [道 0 市 0]	0.0% [道 0.0% 市 0.0%]
3 当事者の会を紹介して欲しい	0 [道 0 市 0]	0.0% [道 0.0% 市 0.0%]
4 医療機関を紹介して欲しい	5 [道 2 市 3]	1.3% [道 1.8% 市 1.1%]
5 家庭内暴力の対応	3 [道 0 市 3]	0.8% [道 0.0% 市 1.1%]
6 関わりについて	117 [道 28 市 89]	29.5% [道 24.8% 市 31.3%]
7 就労・就学について	45 [道 10 市 35]	11.3% [道 8.8% 市 12.3%]
8 来所相談の希望	48 [道 4 市 44]	12.1% [道 3.5% 市 15.5%]
9 今後の生活の仕方について	61 [道 22 市 39]	15.4% [道 19.5% 市 13.7%]
10 話を聞いてほしい	53 [道 13 市 40]	13.4% [道 11.5% 市 14.1%]
11 事業内容を知りたい	27 [道 11 市 16]	6.8% [道 9.7% 市 5.6%]
12 その他	19 [道 13 市 6]	4.8% [道 11.5% 市 2.1%]
計	397 [道 113 市 284]	100%

7. 他機関への相談経験の有無

(単位：件)

	件数	構成比(%)
相談経験あり	249 [道 65 市 184]	62.7% [道 57.5% 市 64.8%]
相談経験なし	13 [道 5 市 8]	3.3% [道 4.4% 市 2.8%]
不明	135 [道 43 市 92]	34.0% [道 38.1% 市 34.0%]
計	397 [道 113 市 284]	100.0%

8. 初回相談の転帰（合算）

	転帰	件数
終了		237 [道 73 市 163]
	助言終了	(197) [道 59 市 138]
	関係機関紹介	(32) [道 12 市 20]
	受診勧奨	(5) [道 2 市 3]
	中断	(3) [道 1 市 2]

転帰		件数
継続		160 〔道 39 市 121〕
	来所相談を希望・指導	(75) 〔道 8 市 67〕
	電話・メール相談継続	(83) 〔道 30 市 53〕
	その他	(2) 〔道 1 市 1〕
	総計	397 〔道 113 市 284〕

9. ひきこもり相談から当施設精神科デイケアを活用したケース

○ 精神科デイケアへの通所

	人数
平成 28 年度	10 名 〔道 2 市 8〕
平成 27 年度	32 名 〔道 31 市 1〕
計	42 名 〔道 33 市 9〕

○ ひきこもり外来状況

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	計
延べ回数	280 回 〔道 249 市 31〕	59 回 〔道 16 市 43〕	339 回 〔道 265 市 74〕
新規ケース	56 名 〔道 47 市 9〕	9 名 〔道 2 市 7〕	65 名 〔道 49 市 16〕

b 支援ネットワークの構築等

関係機関に対する事業概要説明をはじめ、講演会等の講師派遣、研修会参加などにより各支援機関との情報共有、連携を行ってきた。

札幌市では「ひきこもり出張無料相談会」を実施し、北海道においては支援者連絡会議を実施した。以下、支援ネットワークの状況である。

1. ネットワーク構築状況

月	日	実 施 内 容	備 考
5	6	札幌市子ども未来局職員来所（施設見学等）	2 名来所
5	2 7	相模原市 照会（センター運営状況について）	子ども未来局経由 （メール）
5	3 1	青森県立精神保健福祉センターおよび 宮城県精神保健福祉センター 照会（センター運営状況等について）	子ども未来局経由 （メール）
7	1 8	「ピアサポート事業にかかわる当事者ニーズの調査」 NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワークより依頼 （当事者アンケートの協力）	過去の相談者、 当事者 2 名協力
8	2	生活就労サポートセンターしりべし 小樽市生活サポートセンター「たるさぼ」 （コンサルテーション実施）	5 名来所
8	1 8	静岡県公明党議員来所	5 名来所
8	3 1	札幌こころのセンター職員、各区相談来所 （事業説明および支援方法の伝達、連携の確認等）	1 0 名来所
9	1 4	札幌市公明党市議会議員、公明新聞来所	4 名来所
9	2 1	星槎高校教員来所	1 名来所
9	2 8	滋賀県立精神保健福祉センター職員 2 名 （事業説明、関係機関との連携、支援方法等について伝達）	さっぽろ子若協議会 第 2 回参加時
9	3 0	NPO 法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク職員来所 （ケース検討実施）	1 名来所
1 0	1 1	札幌市 職場で使える「虎の巻」相談先情報更新	平成 23 年以来の更 新
1 0	2 6	ひきこもり調査研究の取材協力（江別市：北翔大学教員）	1 名来所
1	1 6	釧路支援機関より問い合わせ	電話
1	3 0	ひきこもり当事者より、手作りポストカードの寄付（110 枚）	ハガキ相談に使用 予定
1	3 1	札幌市教育委員会「生徒指導第 13 集、不登校への対応」掲載	掲載内容の修正
3	7	子ども未来局 職員来所	次年度打ち合わせ
3	7	厚労省、北海道障害福祉課職員来所	3 名来所

2. ひきこもり出張無料相談会実施状況（札幌市）

当センターの通常相談の開設日は平日の日中である。相談者によっては、平日の日中は「仕事があり相談ができない」等、多様なニーズが考えられる。そのため、「ひきこもり出張無料相談会」は各回、「土曜日開催」として実施した。

「ひきこもり出張無料相談会」の実施にあたっては、当センターのホームページ、広報さっぽろ 10 月号、広報さっぽろ（地デジ・アプリ）、10 区役所・10 区民センターおよび他関係機関へのチラシ配布等で周知を行った。

各回、いずれも相談員 2 名で対応した。

月	日	対象地区（実施場所）	備 考
7	9	対象地区：白石区・厚別区（白石区民センター）	申込 2 （うち相談 2）
9	3	対象地区：中央区・南区（中央区民センター）	申込 4 （うち相談 3、キャンセル 1）
11	5	対象地区：東区・北区（東区民センター別館）	申込 8 （うち相談 4、キャンセル 1、メール相談代替 2、来所相談代替 1）
1	21	対象地区：豊平区・清田区（豊平区民センター）	申込 4 （うち相談 4 ※飛び込み 1 含む）
3	4	対象地区：西区・手稲区（西区民センター）	申込 3 （うち相談 2、キャンセル 1） ※キャンセルケースは、他機関相談へ

3. ひきこもり支援者連絡会議実施状況（北海道）

月	日	実 施 内 容	備 考
10	7	ひきこもり支援者連絡会議（相談員 2 名で対応）	留萌保健所 （保健師 8 名）
11	7	ひきこもり支援者連絡会議（相談員 2 名で対応）	稚内保健所 （保健師等 10 名）
2	8	ひきこもり支援者連絡会議（相談員 2 名で対応）	渡島保健所木古内支所 （保健師等 2 名）
2	8	ひきこもり支援者連絡会議（相談員 2 名で対応）	渡島保健所森支所 （保健師等 3 名）

4. ひきこもり支援関係者研修会実施状況

月	日	実 施 内 容	備 考
3	11	平成 28 年度 ひきこもり支援機関関係職員等研修会 「ひきこもりの家族支援」CRAFT を学ぶ 第 2 弾	参加者 55 名 札幌市外 23 名、札幌市 32 名

5. ひきこもり関連会議参加状況

月	日	実 施 内 容	備 考
6	16	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第1回実務者会議	1名参加
7	6	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（横浜市）	1名参加
7	7	東京都ひきこもりサポートネット視察	1名参加
9	28	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第2回実務者会議	1名参加
10	12	北海道子ども・若者支援地域協議会	1名参加
10	12	北海道地域若者サポートステーション連絡会議	1名参加
12	5	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会会議（神戸市）	1名参加
12	6	神戸市ひきこもり地域支援センター ラポール視察	1名参加
12	19	札幌市生活困窮者自立支援ネットワーク会議	欠席
1	10	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 第3回実務者会議	欠席
3	8	さっぽろ子ども若者支援地域協議会 代表者会議及び第4回実務者会議	1名参加
3	28	石狩市こども・若者支援地域協議会 代表者会議	1名参加

6. 講師派遣状況等

月	日	実 施 内 容	備 考
9	16	「ひきこもり学習会」打ち合わせ （北広島市障がい者自立支援協議会）	3名来所
9	29	札幌市児童相談所「札幌市における、ひきこもり支援について」	1名派遣
11	12	こころの健康から見た“ひきこもり”（江別市）	1名派遣
11	17	「ひきこもり学習会」第1回（北広島市障がい者自立支援協議会）	2名派遣
11	18	「ひきこもり学習会」（苫小牧市 まゆだまの会）	1名派遣
11	24	「ひきこもり学習会」第2回（北広島市障がい者自立支援協議会）	2名派遣
1	20	札幌市スクールソーシャルワーカー 親の会 打ち合わせ	2名来所
2	23	札幌市社会福祉士会 「ひきこもり学習会」	1名派遣 参加1名
3	6	札幌市スクールソーシャルワーカー 親の会	2名派遣
3	8	「ひきこもりの知識と支援方法」（青森県精神保健福祉センター）	1名派遣
3	15	「ひきこもり学習会」（室蘭保健所）	2名派遣

7. 外部研修参加状況等

月	日	実 施 内 容	備 考
6	18 19 20	CRAワークショップ「コミュニティ強化アプローチ」 ※CRAFT（コミュニティ強化法と家族トレーニング）のベースとなるもの	1名参加
10	30	「それぞれの経験的知識がつなぐ ひきこもりピアサポート」 主催：NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク	1名参加
3	9 10	平成28年度 こころの健康づくり対策事業「ひきこもり対策研修」（東京都）	1名参加

8. ひきこもりサポーター養成研修事業

月	日	実 施 内 容	備 考
12	19	インターネット会議 田中 敦 氏（NPO法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク）	Skype 使用
1	13	研修会撮影打ち合わせ （就労継続支援B型事業所 ここリカ・プロダクション）	2名参加
1	25	研修会撮影 （就労継続支援B型事業所 ここリカ・プロダクション）	
2 3	13 13	平成28年度 ひきこもりサポーター養成研修事業 「インターネット配信研修会」（1か月間配信およびDVD貸し出し） 申込み176名 参加 117名 ＜サポーターの養成が本格的になった場合＞ サポーター希望者41名 検討中47名	動画ページ閲覧 数 454 回
2	17	平成28年度ひきこもりサポーター養成協議会	今後の動きについて

c. 普及啓発

「ひきこもり」に関する基本的な知識や、姿勢、支援方法等、正しい知識の普及に努めた。

1. 普及啓発実施状況

月	日	実 施 内 容	備 考
7	26	北方ジャーナル 記者取材	1名来所
9	8	札幌市広報課 取材	2名来所
9	28	DVD貸し出し（平成24年度ひきこもりサポーター地域総合育成事業）	1名
10	1	広報さっぽろ 10月号「ひきこもりを知る」掲載	
10	3	北海道新聞 「札幌市ひきこもり地域支援センター開設1年」掲載	
10	18	北海道新聞 記者取材（当事者インタビュー）	1名来所
10	20	北海道教育大付属札幌中学校 生徒取材 （総合的な学習、ひきこもりについて）	1名来所
12	26	札幌市社協広報誌「やさしい街3月号」掲載	
1	12	北海道医療新聞 記者取材	1名来所
2	3	テレビ朝日 記者問い合わせ	メール
2	17	読売新聞社 記者アンケート取材（北海道分）	メール

月	日	実 施 内 容	備 考
2	28	読売新聞社 記者アンケート取材①（札幌市分）	メール
3	4	北海道新聞 「ひきこもりサポーター養成研修事業 インターネット配信研修会」について掲載	
3	8	HBC放送問い合わせ	電話
3	13	北海道医療大学 調査研究協力	1名来所
3	17	読売新聞社 記者アンケート取材②（札幌市分）	メール
3	27	NHK 取材依頼	電話
3	31	講演会「ひきこもり相談から感じたこと」	講師1名派遣 参加者70名

2. リーフレットの作成配布

講演会や研修会などを活用し、ひきこもり本人及び家族に向けたリーフレット等を配布した。

月	日	実 施 内 容	備 考
6	16	リーフレット配布	第1回さっぽろ子ども若者支援地域協議会参加時
11	12	リーフレット配布	（江別市：講師派遣時）
11	17	リーフレット及びひきこもりサポーター地域総合育成事業テキスト配布	（北広島市：講師派遣時）
11	18	リーフレット及びひきこもりサポーター地域総合育成事業テキスト配布	（苫小牧市：講師派遣時）
11	24	リーフレット配布	（北広島市：講師派遣時）
1	20	リーフレット配布	案内先へ送付 （ひきこもり研修会及び、インターネット配信研修会）
2	23	リーフレット配布	社会福祉士会：講師派遣時
3	11	リーフレット及び、ひきこもりサポーター地域総合育成事業テキスト配布	研修会時
3	31	リーフレット配布	講演会時

○ インターネット利用（ホームページ）による情報発信

ひきこもり相談ホームページアクセス件数

年 度	件 数	備 考
平成 28 年度	17,297 件	
27 年度	13,552 件	
26 年度	13,865 件	
25 年度	11,431 件	
24 年度	8,032 件	
23 年度	4,232 件	
22 年度	3,220 件	
21 年度	3,109 件	(9 ヶ月分)

3 会 計 部 門

貸 借 対 照 表

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	11,484,239	9,632,191	1,852,048
普通預金	11,484,239	9,632,191	1,852,048
未収金	16,890,299	21,691,706	△4,801,407
前払金	70,000	70,000	
立替金	8,775		8,775
流動資産合計	28,453,313	31,393,897	△2,940,584
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,982,970	49,982,970	
諸貯金	17,030	17,030	
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	38,300,022	34,083,323	4,216,699
減価償却引当資産	45,910,608	44,710,608	1,200,000
土地	347,016,000	347,016,000	
建物	497,434,011	497,434,011	
什器備品	23,436,809	23,768,993	△332,184
減価償却累計額 △	375,541,572	366,490,102	9,051,470
特定資産合計	576,555,878	580,522,833	△3,966,955
(3) その他固定資産			
構築物	7,414,959	7,414,959	
車両運搬具	2,207,755	2,207,755	
減価償却累計額 △	8,464,478	8,237,526	226,952
電話加入権	352,024	352,024	
預託金	45,460	45,460	
その他固定資産合計	1,555,720	1,782,672	△226,952
固定資産合計	628,111,598	632,305,505	△4,193,907
資産の部合計	656,564,911	663,699,402	△7,134,491
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,901,386	6,356,843	△2,455,457
未払消費税等	531,600	442,800	88,800
預り金	771,219	2,259,293	△1,488,074
流動負債合計	5,204,205	9,058,936	△3,854,731
2 固定負債			
退職給付引当金	38,300,022	34,083,323	4,216,699
固定負債合計	38,300,022	34,083,323	4,216,699
負債の部合計	43,504,227	43,142,259	361,968
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	156,792,204	165,429,377	△8,637,173
民間助成金	130,069	161,285	△31,216
寄付金	30,000,000	30,000,000	
受贈土地	347,016,000	347,016,000	
指定正味財産合計	533,938,273	542,606,662	△8,668,389
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	()
(うち特定資産への充当額)	(483,808,204)	(492,445,377)	(△8,637,173)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(79,122,411)	(77,950,481)	1,171,930
(54,447,652)	(53,994,133)	(453,519)	
正味財産の部合計	613,060,684	620,557,143	△7,496,459
負債及び正味財産合計	656,564,911	663,699,402	△7,134,491

正味財産増減計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	231,915	245,846	△13,931
基本財産受取利息	231,915	245,846	△13,931
特定資産運用益	2,133	3,929	△1,796
特定資産受取利息	2,133	3,929	△1,796
事業収益	101,330,832	107,577,591	△6,246,759
国保連合会収益	39,645,885	45,857,465	△6,211,580
社保支払基金収益	29,168,016	29,054,122	113,894
デイケア自己負担金収益	4,023,170	3,649,460	373,710
研修事業収益	236,000	624,000	△388,000
就労支援事業収益	2,610,623	1,502,002	1,108,621
訓練等給付費収益	24,508,142	25,483,502	△975,360
就労支援自己負担金収益	585,000	538,800	46,200
計画相談支援給付費収益	240,936		240,936
その他の事業収益	313,060	868,240	△555,180
受取補助金等	32,131,632	32,045,828	85,804
受取補助金等振替額	10,161,309	12,981,521	△2,820,212
北海道委託金	15,075,603	15,260,547	△184,944
札幌市委託金	6,894,720	3,803,760	3,090,960
受取寄付金	461,469	1,359,000	△897,531
受取寄付金	461,469	1,359,000	△897,531
雑収益	1,073,531	646,476	427,055
受取利息	1,615	12,636	△11,021
雑収益	1,071,916	633,840	438,076
経常収益計	135,231,512	141,878,670	△6,647,158
(2) 経常費用			
事業費	117,354,535	116,917,647	436,888
給料手当	61,686,031	57,876,843	3,809,188
臨時雇賃金	9,011,703	9,179,473	△167,770
退職給付費用	3,837,197	4,207,562	△370,365
福利厚生費	9,755,194	9,740,929	14,265
旅費交通費	2,046,488	1,977,350	69,138
通信運搬費	863,484	896,722	△33,238
減価償却費	9,287,666	9,282,753	4,913
消耗什器備品費		933,813	△933,813
消耗品費	2,082,567	2,449,672	△367,105
修繕費	386,973	2,399,925	△2,012,952
印刷製本費	404,150	225,828	178,322
燃料費	896,834	748,421	148,413
光熱水料費	2,028,079	2,017,705	10,374
賃借料	1,367,003	1,757,180	△390,177
保険料	507,541	595,301	△87,760
諸謝金	2,786,000	2,955,500	△169,500
租税公課	1,002,943	910,189	92,754
支払負担金	395,213	313,759	81,454
委託費	5,366,968	5,295,764	71,204
医薬材料費	11,239	20,274	△9,035
デイケア材料費	834,485	1,026,221	△191,736
利用者工賃	2,389,412	1,865,743	523,669
支払手数料	407,365	240,720	166,645
管理費	16,705,047	18,306,174	△1,601,127

正 味 財 産 増 減 計 算 書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
役員報酬	114,700	103,600	11,100
給料手当	11,769,747	13,174,482	△1,404,735
臨時雇賃金	12,356	12,272	84
退職給付費用	379,502	416,133	△36,631
福利厚生費	1,892,483	1,987,947	△95,464
会議費	34,598	32,940	1,658
旅費交通費	52,430	26,640	25,790
通信運搬費	101,326	117,464	△16,138
減価償却費	622,856	621,182	1,674
消耗品費	155,490	154,242	1,248
修繕費	27,045	166,511	△139,466
燃料費	61,754	52,193	9,561
光熱水料費	127,115	127,129	△14
賃借料	23,556	32,174	△8,618
保険料	44,339	53,933	△9,594
租税公課	38,157	30,761	7,396
支払負担金	74,487	59,241	15,246
雑費		29,388	△29,388
支払手数料	100,250	54,941	45,309
委託費	1,072,856	1,053,001	19,855
経常費用計	134,059,582	135,223,821	△1,164,239
評価損益等調整前当期経常増減額	1,171,930	6,654,849	△5,482,919
評価損益等計			
当期経常増減額	1,171,930	6,654,849	△5,482,919
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損		2,994	△2,994
什器備品売却損		2,994	△2,994
経常外費用計		2,994	△2,994
当期経常外増減額		△2,994	2,994
税引前当期一般正味財産増減額	1,171,930	6,651,855	△5,479,925
当期一般正味財産増減額	1,171,930	6,651,855	△5,479,925
一般正味財産期首残高	77,950,481	71,298,626	6,651,855
一般正味財産期末残高	79,122,411	77,950,481	1,171,930
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	1,492,920	4,343,000	△2,850,080
受取国庫補助金		3,255,000	△3,255,000
受取民間助成金	1,492,920	1,088,000	404,920
一般正味財産への振替額	10,161,309	12,981,521	△2,820,212
一般正味財産への振替額	10,161,309	12,981,521	△2,820,212
当期指定正味財産増減額	△8,668,389	△8,638,521	△29,868
指定正味財産期首残高	542,606,662	551,245,183	△8,638,521
指定正味財産期末残高	533,938,273	542,606,662	△8,668,389
Ⅲ 正味財産期末残高	613,060,684	620,557,143	△7,496,459

正味財産増減計算書内訳表

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益		231,915		231,915
基本財産受取利息		231,915		231,915
特定資産運用益	1,941	192		2,133
特定資産受取利息	1,941	192		2,133
事業収益	86,259,571	15,316,921	△245,660	101,330,832
国保連合会収益	30,394,465	9,251,420		39,645,885
社保支払基金収益	23,776,460	5,391,556		29,168,016
デｲｸﾞ自己負担金収益	3,349,225	673,945		4,023,170
研修事業収益	236,000			236,000
就労支援事業収益	2,856,283		△245,660	2,610,623
訓練等給付費収益	24,508,142			24,508,142
就労支援自己負担金収益	585,000			585,000
計画相談支援給付費収益	240,936			240,936
その他の事業収益	313,060			313,060
受取補助金等	31,552,942	578,690		32,131,632
受取補助金等振替額	9,582,619	578,690		10,161,309
北海道委託金	15,075,603			15,075,603
札幌市委託金	6,894,720			6,894,720
受取寄付金	461,469			461,469
受取寄付金	461,469			461,469
雑収益	439,873	633,658		1,073,531
受取利息	1,615			1,615
雑収益	438,258	633,658		1,071,916
経常収益計	118,715,796	16,761,376	△245,660	135,231,512
(2) 経常費用				
事業費	117,600,195		△245,660	117,354,535
給料手当	61,686,031			61,686,031
臨時雇賃金	9,011,703			9,011,703
退職給付費用	3,837,197			3,837,197
福利厚生費	9,755,194			9,755,194
旅費交通費	2,046,488			2,046,488
通信運搬費	863,484			863,484
減価償却費	9,287,666			9,287,666
消耗品費	2,082,567			2,082,567
修繕費	386,973			386,973
印刷製本費	404,150			404,150
燃料費	896,834			896,834
光熱水料費	2,028,079			2,028,079
賃借料	1,367,003			1,367,003
保険料	507,541			507,541
諸謝金	2,786,000			2,786,000
租税公課	1,002,943			1,002,943
支払負担金	395,213			395,213
委託費	5,366,968			5,366,968
医薬材料費	11,239			11,239
デｲｸﾞ材料費	834,485			834,485
利用者工賃	2,389,412			2,389,412
支払手数料	653,025		△245,660	407,365
管理費		16,705,047		16,705,047
役員報酬		114,700		114,700
給料手当		11,769,747		11,769,747
臨時雇賃金		12,356		12,356
退職給付費用		379,502		379,502
福利厚生費		1,892,483		1,892,483
会議費		34,598		34,598
旅費交通費		52,430		52,430

正味財産増減計算書内訳表

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	(公財) 北海道精神保健推進協会			合 計
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	
通信運搬費		101,326		101,326
減価償却費		622,856		622,856
消耗品費		155,490		155,490
修繕費		27,045		27,045
燃料費		61,754		61,754
光熱水料費		127,115		127,115
賃借料		23,556		23,556
保険料		44,339		44,339
租税公課		38,157		38,157
支払負担金		74,487		74,487
支払手数料		100,250		100,250
委託費		1,072,856		1,072,856
経常費用計	117,600,195	16,705,047	△245,660	134,059,582
評価損益等調整前当期経常増減額	1,115,601	56,329		1,171,930
評価損益等計				
当期経常増減額	1,115,601	56,329		1,171,930
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				
(2) 経常外費用				
経常外費用計				
当期経常外増減額				
税引前当期一般正味財産増減額	1,115,601	56,329		1,171,930
当期一般正味財産増減額	1,115,601	56,329		1,171,930
一般正味財産期首残高	70,037,907	7,912,574		77,950,481
一般正味財産期末残高	71,153,508	7,968,903		79,122,411
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	1,492,920			1,492,920
受取民間助成金	1,492,920			1,492,920
一般正味財産への振替額	9,582,619	578,690		10,161,309
一般正味財産への振替額	9,582,619	578,690		10,161,309
当期指定正味財産増減額	△8,089,699	△578,690		△8,668,389
指定正味財産期首残高	532,862,889	9,743,773		542,606,662
指定正味財産期末残高	524,773,190	9,165,083		533,938,273
III 正味財産期末残高	595,926,698	17,133,986		613,060,684

財 産 目 録

平成29年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 普通預金 未収金 前払金 立替金	北洋銀行白石中央支店他4口座 診療報酬、診療報酬自己負担分他 前払家賃 OB会会報發送立替分	運転資金として	11, 484, 239 11, 484, 239 16, 890, 299 70, 000 8, 775
	流動資産合計			28, 453, 313
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	札幌市平成27年度第9回公募公債他	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	49, 982, 970
	諸貯金	北洋銀行白石中央支店	管理活動財産として運用益を管理費の財源として使用している。	17, 030
特定資産	退職給付引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、34, 853, 020円は公益目的事業会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。	38, 300, 022
	減価償却引当資産	定期預金・普通預金 北洋銀行白石中央支店他2口座	右記金額のうち、3, 447, 002円は法人会計の引当資産であり、退職給付引当資産として管理されている預金。 右記金額のうち、42, 893, 597円は公益目的事業会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。	45, 910, 608
	土地	4, 819. 66㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、3, 017, 011円は法人会計の引当資産であり、資産取得資金として管理されている預金。 公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。	347, 016, 000
	建物	1, 718㎡ 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号	右記金額のうち、464, 243, 115円は公益目的保有財産であり、公益目的事業の施設に使用している。 右記金額のうち、33, 190, 896円は管理活動財産であり、法人会計の施設に使用している。 公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用している。	497, 434, 011
その他固定資産	什器備品	応接セット他64点		23, 436, 809
	減価償却累計額 △ 構築物	館名板他3点	公益目的保有財産であり、公益目的事業の設備として使用	375, 541, 572 7, 414, 959

財 産 目 録

平成29年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	車両運搬具	ホンダ ストリーム他1台	用している。 公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用し 用いている。 公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用し ている。 公益目的保有財産であり、公益目的事業において使用し ている車輦運搬具に係るリサイクル料及び事業所敷金である。	2, 207, 755
	減価償却累計額 △ 電話加入権	日本電信電話㈱		8, 464, 478
	預託金	リサイクル預託金 車輦2台分・事業所敷金		352, 024
				45, 460
固定資産合計				628, 111, 598
資産合計				656, 564, 911
(流動負債)	未払金	職員及び商業者等に対する未払額	公益目的事業会計及び法人会計での給与手当及び経常経 費の未払分である。	3, 901, 386
	未払消費税等 預り金	平成28年度消費税 社会保険料職員自己負担分		531, 600 771, 219
				5, 204, 205
流動負債合計				
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	38, 300, 022
固定負債合計				38, 300, 022
負債合計				43, 504, 227
正味財産				613, 060, 684

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

個別原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法

(3) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	49,982,970			49,982,970
諸貯金	17,030			17,030
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
土地	347,016,000			347,016,000
建物	153,337,064		9,393,028	143,944,036
什器備品	1,375,838	299,916	290,542	1,385,212
退職給付引当資産	34,083,323	4,216,699		38,300,022
減価償却引当資産	44,710,608	1,200,000		45,910,608
小 計	580,522,833	5,716,615	9,683,570	576,555,878
合 計	630,522,833	5,716,615	9,683,570	626,555,878

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	49,982,970	49,982,970		
諸貯金	17,030	17,030		
小 計	50,000,000	50,000,000	0	0
特定資産				
土地	347,016,000	347,016,000		
建物	143,944,036	136,792,180	7,151,856	
什器備品	1,385,212	24	1,385,188	
退職給付引当資産	38,300,022			38,300,022
減価償却引当資産	45,910,608		45,910,608	
小 計	576,555,878	483,808,204	54,447,652	38,300,022
合 計	626,555,878	533,808,204	54,447,652	38,300,022

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	16,890,299		16,890,299
合 計	16,890,299	0	16,890,299

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務
該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債権並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時価	評価損益
北海道平成25年度第15回公募公債	30,022,955	31,212,000	1,189,045
札幌市平成27年度第9回公募公債	19,960,015	20,058,000	97,985
合 計	49,982,970	51,270,000	1,287,030

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
地域移行支援事業	北海道		7,764,702	7,764,702	0	一般正味財産
高次脳機能事業	〃		1,596,996	1,596,996	0	一般正味財産
ひきこもり事業	〃		5,713,905	5,713,905	0	一般正味財産
ひきこもり事業	札幌市		6,894,720	6,894,720	0	一般正味財産
民間助成金					0	
赤い羽根助成	札幌市共募	161285		31,216	130,069	指定正味財産
社会福祉事業研究助成	三菱財団		1,200,000	1,200,000	0	指定正味財産
合 計		0	23,170,323	23,201,539	130,069	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	8,668,389
民間助成金当期使用分振替額	1,492,920
合 計	10,161,309

11. 関連当事者との取引の内容
該当なし

12. 重要な後発事象
該当なし

13. その他
該当なし

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	49,982,970			49,982,970
	諸貯金	17,030			17,030
	基本財産計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産	土地	347,016,000			347,016,000
	建物	153,337,064		9,393,028	143,944,036
	什器備品	1,375,838	299,916	290,542	1,385,212
	退職給付引当資産	34,083,323	4,216,699		38,300,022
	減価償却引当資産	44,710,608	1,200,000		45,910,608
	特定資産計	580,522,833	5,716,615	9,683,570	576,555,878

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	34,083,323	4,216,699			38,300,022

収 支 計 算 書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 基本財産運用収入	244,000	231,915	△12,085
基本財産利息収入	244,000	231,915	△12,085
(2) 特定資産運用収入	4,000	2,133	△1,867
特定資産利息収入	4,000	2,133	△1,867
(5) 事業収入	102,546,000	101,330,832	△1,215,168
国保連合会収入	42,861,000	39,645,885	△3,215,115
社保支払基金収入	27,343,000	29,168,016	1,825,016
ﾃﾞｲｹﾞ自己負担金収入	3,695,000	4,023,170	328,170
研修事業収入	240,000	236,000	△4,000
就労支援事業収入	2,061,000	2,610,623	549,623
訓練等給付費収入	24,375,000	24,508,142	133,142
就労支援自己負担金収入	682,000	585,000	△97,000
計画相談支援給付費収入	349,000	240,936	△108,064
地域相談支援給付収入	95,000		△95,000
その他の事業収入	845,000	313,060	△531,940
(6) 補助金等収入	23,757,000	23,463,243	△293,757
民間助成金収入	1,686,000	1,492,920	△193,080
北海道委託金収入	15,076,000	15,075,603	△397
札幌市委託金収入	6,995,000	6,894,720	△100,280
(8) 寄付金収入	300,000	461,469	161,469
寄付金収入	300,000	461,469	161,469
(9) 雑収入	1,015,000	1,073,531	58,531
受取利息収入	13,000	1,615	△11,385
雑収入	1,002,000	1,071,916	69,916
事業活動収入計	127,866,000	126,563,123	△1,302,877
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出	105,152,000	104,229,672	922,328
給料手当支出	61,687,000	61,686,031	969
臨時雇賃金支出	9,013,000	9,011,703	1,297
福利厚生費支出	9,888,000	9,755,194	132,806
旅費交通費支出	2,048,000	2,046,488	1,512
通信運搬費支出	864,000	863,484	516
消耗品費支出	2,083,000	2,082,567	433
修繕費支出	387,000	386,973	27
印刷製本費支出	405,000	404,150	850
燃料費支出	897,000	896,834	166
光熱水料費支出	2,029,000	2,028,079	921
賃借料支出	1,368,000	1,367,003	997
保険料支出	508,000	507,541	459
諸謝金支出	3,049,000	2,786,000	263,000
租税公課支出	1,055,000	1,002,943	52,057
負担金支出	396,000	395,213	787
委託費支出	5,374,000	5,366,968	7,032
医薬材料費支出	20,000	11,239	8,761
ﾃﾞｲｹﾞ材料費支出	1,037,000	834,485	202,515
利用者工賃支出	2,390,000	2,389,412	588
手数料支出	654,000	407,365	246,635
(2) 管理費支出	16,994,000	15,702,689	1,291,311
役員報酬支出	249,000	114,700	134,300
給料手当支出	12,102,000	11,769,747	332,253
臨時雇賃金	56,000	12,356	43,644

収 支 計 算 書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

勘 定 科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
福利厚生費支出	2,224,000	1,892,483	331,517
会議費支出	45,000	34,598	10,402
旅費交通費支出	53,000	52,430	570
通信運搬費支出	182,000	101,326	80,674
消耗品費支出	402,000	155,490	246,510
修繕費支出	70,000	27,045	42,955
燃料費支出	67,000	61,754	5,246
光熱水料費支出	152,000	127,115	24,885
賃借料支出	25,000	23,556	1,444
火災保険料支出	46,000	44,339	1,661
租税公課支出	40,000	38,157	1,843
負担金支出	78,000	74,487	3,513
手数料支出	101,000	100,250	750
委託費支出	1,102,000	1,072,856	29,144
事業活動支出計	122,146,000	119,932,361	2,213,639
事業活動収支差額	5,720,000	6,630,762	910,762
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計			
2. 投資活動支出			
(2) 特定資産取得支出	5,720,000	5,716,615	3,385
退職給付引当資産取得支出	4,218,000	4,216,699	1,301
減価償却引当資産取得支出	1,201,000	1,200,000	1,000
什器備品取得支出	301,000	299,916	1,084
投資活動支出計	5,720,000	5,716,615	3,385
投資活動収支差額	△5,720,000	△5,716,615	3,385
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計			
2. 財務活動支出			
財務活動支出計			
財務活動収支差額			
Ⅳ 予備費支出			
当期収支差額		914,147	914,147
前期繰越収支差額		22,334,961	22,334,961
次期繰越収支差額		23,249,108	23,249,108

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、立替金、未払金、未払消費税等及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記 2 に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現 金 預 金	9,632,191	11,484,239
未 収 金	21,691,706	16,890,299
前 払 金	70,000	70,000
立 替 金	0	8,775
合 計	31,393,897	28,453,313
未 払 金	6,356,843	3,901,386
未 払 消 費 税 等	442,800	531,600
預 り 金	2,259,293	771,219
合 計	9,058,936	5,204,205
次期繰越収支差額	22,334,961	23,249,108

4 監 査 報 告

監 査 報 告 書

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

理事長 阿 部 幸 弘 様

私たち監事は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

平成 29 年 5 月 23 日

公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事

曾我 浩司



公益財団法人 北海道精神保健推進協会

監 事

松田 敏一



資 料 編

1 理事・監事・顧問・参与・評議員名簿

(平成29年3月31日現在)

役 職	氏 名	所 属
理 事 長	阿 部 幸 弘	こころのリカバリー総合支援センター所長
副理事長	池 田 輝 明	北海道精神病院協会会長 桑園病院院長
常務理事	中 川 悟	北海道精神保健推進協会事務局長
理 事	生 駒 一 憲	北海道大学病院リハビリテーション科教授
理 事	川 村 邦 彦	北海道精神神経科診療所協会会長 川村メンタルクリニック院長
理 事	小 出 英 子	札幌学院大学人文学部教授
理 事	嶋 内 明	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部長
理 事	中 村 未太郎	北海道精神障害者家族連合会会長
理 事	林 下 忠 行	札幌精神科医会会長 林下病院院長
理 事	山 本 長 史	北海道保健福祉部技監
監 事	曾 我 浩 司	北洋銀行常勤監査役
監 事	松 田 敏 一	北海道新聞社常勤監査役
顧 問	伊 東 嘉 弘	桑園病院顧問
参 与	田 邊 等	北海道精神保健福祉センター所長
評 議 員	石 山 貴 博	NPO法人精神障害者回復者クラブすみれ会副理事長
評 議 員	大 澤 恵留美	北海道大学病院リハビリテーション部技師長
評 議 員	鎌 田 隼 輔	札幌市保健福祉局精神保健福祉センター所長
評 議 員	小 山 司	大谷地病院 臨床研究センター長
評 議 員	菅 原 悦 子	NPO法人札幌市精神障害者家族連合会会長
評 議 員	善養寺 圭 子	北海道家庭生活総合カウンセリングセンター理事長
評 議 員	田 熊 昭 紀	こころのリカバリー総合支援センター「リラの会」会長
評 議 員	舘 岡 芳 実	NPO法人オーク会ばる指導員
評 議 員	田 中 奈美子	こころのリカバリー総合支援センター医療参事
評 議 員	土 肥 一 一	こころのリカバリー総合支援センターOB会会長
評 議 員	西 村 正 樹	認定NPO法人DP I (障害者インターナショナル) 日本会議 副議長

2 財団法人設立から、今日までの経過等

昭和62年	7月 7日	財団法人設立準備委員会発足 (第1回会議)
〃	8月10日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立準備委員会 (第2回会議)
〃	8月11日	財団法人北海道精神保健推進協会 (仮称) 設立発起人会 (設立総会)

昭和62年	8月20日	民法第34条の規定に基づく財団法人北海道精神保健推進協会設立許可申請
〃	9月1日	同上許可（北海道知事）
〃	9月1日	財団法人北海道精神保健推進協会事務局設置
〃	9月10日	法人登記
平成元年	2月16日	「札幌デイ・ケアセンター」開設
〃21年	4月1日	「こころのリカバリー総合支援センター」に改称
〃24年	4月1日	財団法人から公益財団法人へ移行
〃26年	6月16日	就労継続支援B型事業所「こころカ・プロダクション」開設
〃28年	6月16日	就労移行支援事業所「こコスト」開設
〃28年	6月16日	相談支援事業所「ココクル」開設

3 施設の概要

(1)「こころのリカバリー総合支援センター」

所在地 札幌市白石区平和通17丁目北1番13号

建物構造 鉄筋コンクリート1部2階建

面積	敷地面積	4,819.66 m ²
	建築延面積	1,793.7 m ²
	・管理訓練棟	1,315.5 m ²
	(うち90.7 m ² を「こコスト」「ココクル」で使用)	
	・体育館	463.20 m ²
	・附属建物	15.00 m ²
付属設備	テニスコート	1面

(2)「こころカ・プロダクション」

所在地 札幌市白石区平和通15丁目北13番18号

建物 民間住宅借上 木造3LDK 90.26 m²

4 基本財産

基本財産の総額は5,000万円で、すべて関係団体の寄附金及び北海道、札幌市からの出捐金であり、その内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

機 関、団 体 名	金 額
北海道精神病院協会	10,000,000
北海道精神障害者家族連合会	10,000,000
札幌市婦人福祉推進協会	10,000,000
北海道	10,000,000
札幌市	10,000,000
計	50,000,000